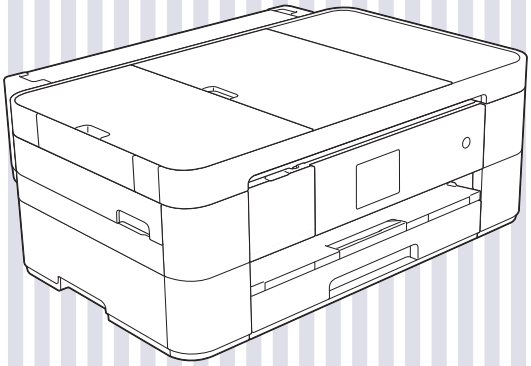
brother

PRIVIO

DCP-J4225N-B/W
ユーザーズガイド
－応用編－



ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

http://support.brother.co.jp/

サポート ブラザー　検 索

オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ https://online.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章 はじめに

第2章 お好みで設定する

第3章 コピー

第4章 スキャン

第5章 デジカメプリント

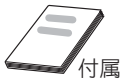
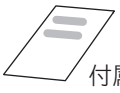
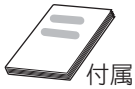
第6章 こんなときは

第7章 付録（索引）

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ 製品に付属されています

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。 はじめにお読みください。	
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	
3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	 http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/
ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク（HTML 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。 また、本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	
クラウド接続ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法などを説明しています。	
AirPrint ガイド（PDF 形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.8.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法などを説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法などを説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/

目次

マニュアルの構成 2
目次 3
本書の見かた 5
編集ならびに出版における通告 5
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします 5
商標について 6

第 1 章　はじめに 7

画面の操作方法 8
用紙のセット 10
使用できる用紙 10
用紙の印刷範囲 12
用紙トレイにセットする 12
多目的トレイにセットする 17
手差しトレイにセットする 20
用紙トレイの設定をする 23
原稿のセット 24
原稿の読み取り範囲 24

第 2 章　お好みで設定する 25

日付と時刻を設定する 26
音量を設定する 28
画面の設定を変更する 29
画面の明るさを設定する 29
キーボードの文字配列を変更する 29
表示言語を「英語」に変更する 29
電力を節約する 30
スリープモードに入る時間を設定する 30
自動電源オフ機能を設定する 30
クイック起動を設定する 31
印刷音を軽減する 32
お気に入りを登録する 33
お気に入りに機能や設定条件を登録する 33
登録したお気に入りを呼び出す 35
お気に入りを編集する 35
セキュリティ機能ロックを設定する 36
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する ... 37
管理者パスワードを設定する 38
ユーザーを登録する 38
セキュリティ機能ロックをオン / オフにする 39
ユーザーを切り替える 39

第 3 章　コピー 41

いろいろなコピー 42
設定を変えてコピーするには 42
スタック / ソートコピーする 44
レイアウトコピーする 45
両面コピーする 48
インクを節約してコピーする 50
コピー時の裏写りを抑える 50
ブックコピーする 51
コピーに文字を重ねる 51
原稿の地色を除去してコピーする 52
A3 用紙を使った便利なコピー 53

第 4 章　スキャン 55

スキャンしたデータをメディアに保存する 56
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 56
複数の原稿を一度にスキャンする 57

第 5 章　デジカメプリント 59

写真をプリントする 60
使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー 60
設定を変えてプリントするには 61
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする 64
インデックスシートをプリントする 65
インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする 66
多様な補正機能を使ってプリントする 67
証明写真プリントをする 70
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する 71
DPOF を使用してプリントするには 72
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 73
PictBridge とは 73
デジタルカメラで行う設定 73
写真をプリントする 73

第 6 章　こんなときは 75

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 76
タッチパネルを清掃する 76
本製品の外側を清掃する 76
本体内部を清掃する 77
排紙ローラーを清掃する 78
インクがなくなったときは 80
インクカートリッジを交換する 80
インク残量を確認する 82
印刷品質が良くないときは 83
定期メンテナンスについて 83

プリントヘッドをクリーニングする 83
用紙送り量を補正する 83

困ったときは

こんなときは 84
本製品の設定内容や機能を確認する 84

第 7 章　付録 85

文字の入力方法 86
入力画面例 86
機能一覧 88
仕様 103
使用環境 110
用語解説 111
索引 112

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重 要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2015 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://support.brother.co.jp/

商標について

Windows、Windows Vista、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本および / またはその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh、Mac OS、および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
Intel は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
Android、Google および Google Cloud Print は、Google Inc. の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。
Wi-Fi Direct および Wi-Fi Protected Access(WPA) は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標です。
メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティックマイクロ、M2 はソニー株式会社の商標または登録商標です。
SDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
AirPrint は、Apple Inc. の商標です。
ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

第１章

はじめに

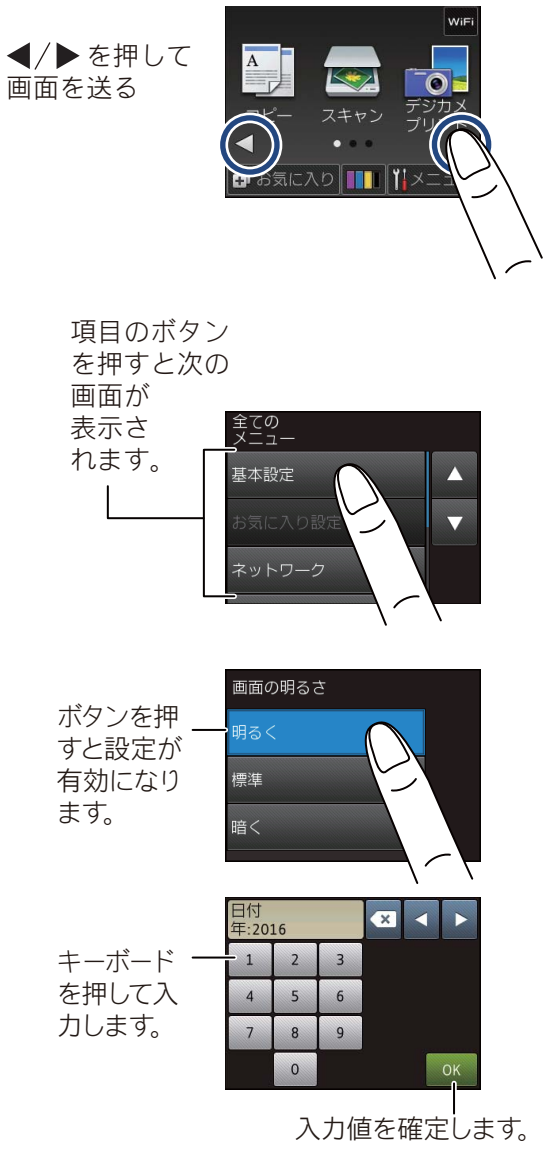
画面の操作方法 8
操作例 8

用紙のセット 10
使用できる用紙 10
用紙の印刷範囲 12
用紙トレイにセットする 12
多目的トレイにセットする 17
手差しトレイにセットする 20
用紙トレイの設定をする 23
コピー、デジカメプリントのときに使うトレイを選択する 23
トレイの優先順位を変更する 23

原稿のセット 24
原稿の読み取り範囲 24

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面を送ります。



重 要

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

① 【メニュー】を押す

操作パネル上の ⮌ を押すと、1 つ前の画面に戻すことができます。

② 【全てのメニュー】を押す

メニュー画面が表示されます。

③ 【基本設定】を押す

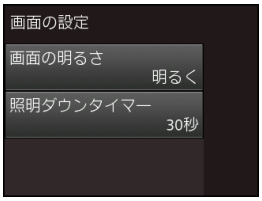
次の階層が表示されます。

4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを選ぶ

ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

用紙のセット

印刷品質は用紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った用紙を選んでください。
印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「専用紙・推奨紙」

使用できる用紙

種類	坪量（厚さ）	一度にセットできる枚数			サイズ [ ] 内は手差しトレイでのみ使用可能		
		用紙トレイ	多目的トレイ	手差しトレイ	コピー	デジカメプリント	プリンター
普通紙	64g/m^2 ～ 120g/m^2 (0.08mm ～ 0.15mm)	150[*1]	80[*2]	1	[A3] [B4（JIS）] A4 B5（JIS） A5 2L 判[*5] L 判	[A3] A4 2L 判[*5] L 判	[A3] [B4（JIS）] [レジャー] [リーガル] A4 B5（JIS） A5 A6 US レター エグゼクティブ 2L 判[*5] L 判
インクジェット紙	64g/m^2 ～ 200g/m^2 (0.08mm ～ 0.25mm)	20	20				
光沢紙	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下)[*3][*4]	20	20				
はがき	220g/m^2 以下 (0.25mm 以下)[*4]	30	50[*6]		ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき (折っていないもの)		30	50[*6]		―	―	往復ハガキ
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)		30	50[*6]		―	―	ポストカード
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m^2 以下 (0.15mm 以下)	30	50		―	―	インデックスカード
封筒	80g/m^2 ～ 95g/m^2 (0.52mm 以下)	10	20		―	―	[角形 2 号封筒] 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒

[*1] 80g/m^2 の用紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク（△の目印）を超えないようにセットしてください。

[*2] 80g/m^2 の用紙の目安です。

[*3] ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m^2 ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

[*4] 多目的トレイの場合は、0.3mm 以下

[*5] 127mm × 178mm

[*6] 厚さ 0.23mm の用紙の目安です。

重 要

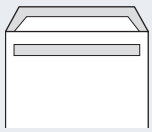
■ 指定された用紙でも、以下の状態の用紙は使用できません。
傷がついている用紙、カールしている用紙、シワのある用紙、留め金のついた用紙

■ 指定以外の用紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。

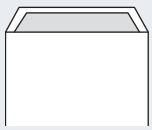
■ ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

- 窓付き封筒
- エンボス加工がされたもの
- 留め金のついたもの
- 内側に印刷がほどこされているもの
- ふたにのりが付いているもの



- 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

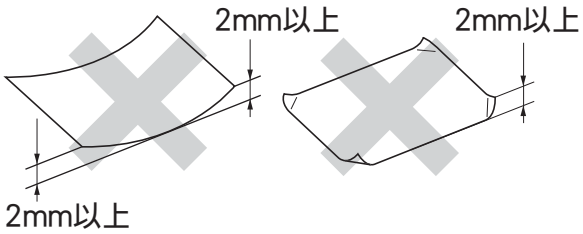


お願い

■ 使用していない用紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

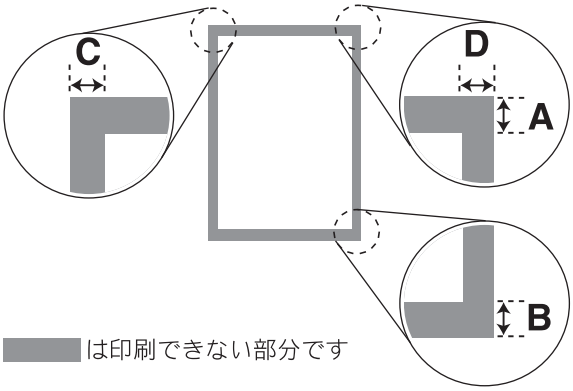
■ 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

カールしている用紙について
特に、はがきや光沢紙はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。
カールしている用紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、用紙づまりが発生します。

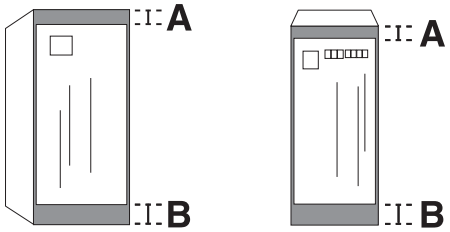


用紙の印刷範囲

用紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。



封筒のA、Bの位置は下図のようになります。



長辺にふたの付いた封筒　　短辺にふたの付いた封筒

(単位：mm)

用紙	A	B	C	D
A3/B4（JIS）/A4/B5（JIS）/A5/A6/ レジャー / リーガル /US レター / エグゼクティブ / 2L 判 /L 判 / インデックスカード / ポストカード / ハガキ / 往復ハガキ	3	3	3	3
角形 2 号封筒 / 長形 3 号封筒 / 長形 4 号封筒 / 洋形 2 号封筒 / 洋形 4 号封筒 / Com-10 封筒 /DL 封筒	12	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。この数値はお使いの用紙によっても変わることがあります。

用紙トレイにセットする

お願い

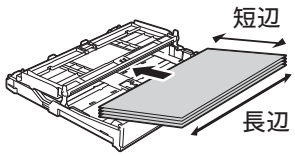
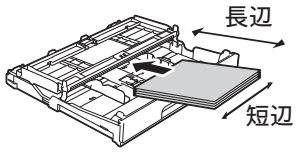
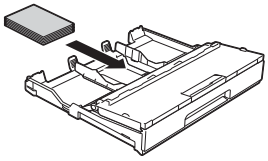
- ■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙には表側と裏側があります。用紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。
- ■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

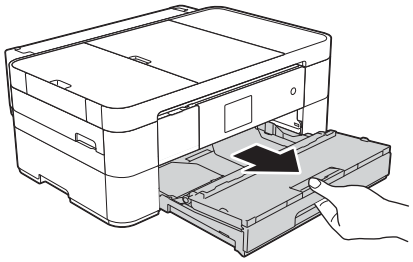
【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙タイプまたは用紙サイズを変更してください。

トレイ確認設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

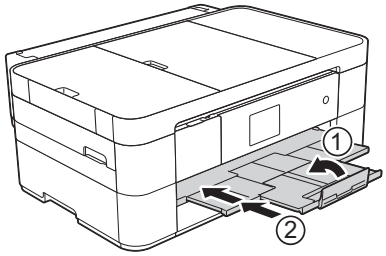
● 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向 
• A5 • A6 • 2L 判 • 往復ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒（角形 2 号を除く）	縦方向 
• L 判 • ハガキ	縦方向 

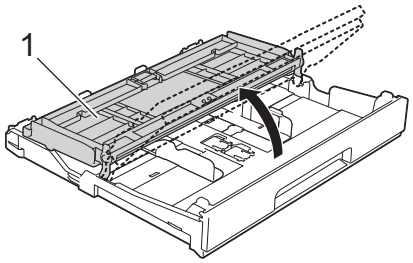
1 用紙トレイを引き出す



用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納 (2) してから引き出します。



2 トレイカバー（1）を開く



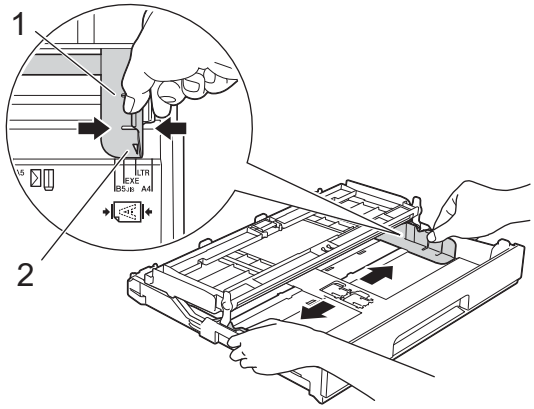
ここから先の手順は、用紙の種類によって異なります。それぞれのタイトルに飛んでお読みください。

- A4、B5、2L 判など（L 判、はがき、封筒以外）の用紙をセットする⇒ 13 ページ
- L 判、はがきをセットする⇒ 14 ページ
- 封筒をセットする⇒ 15 ページ

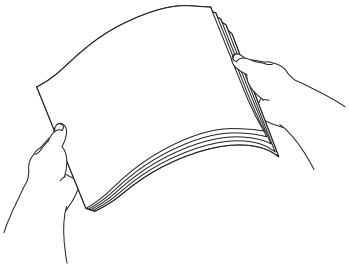
A4、B5、2L 判など（L 判、はがき、封筒以外）の用紙をセットする

3 用紙ガイド（1）の▽の目印（2）を、用紙サイズの目盛りに合わせる

用紙ガイドは両手で動かしてください。

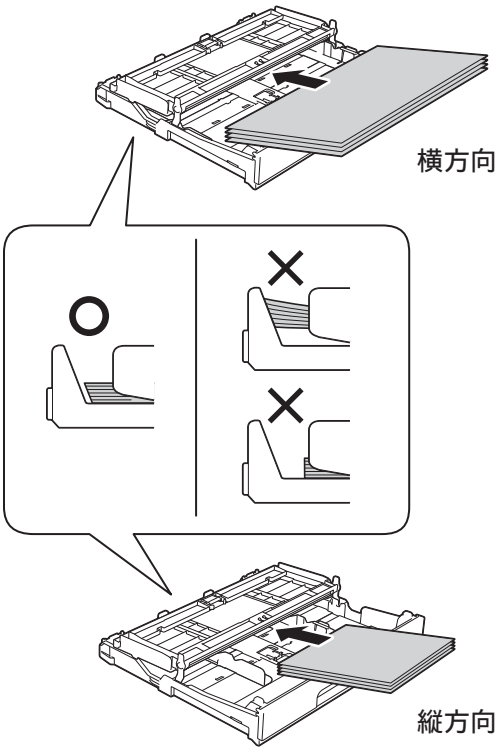


4 用紙をさばく



5 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



⇒手順 6 へ

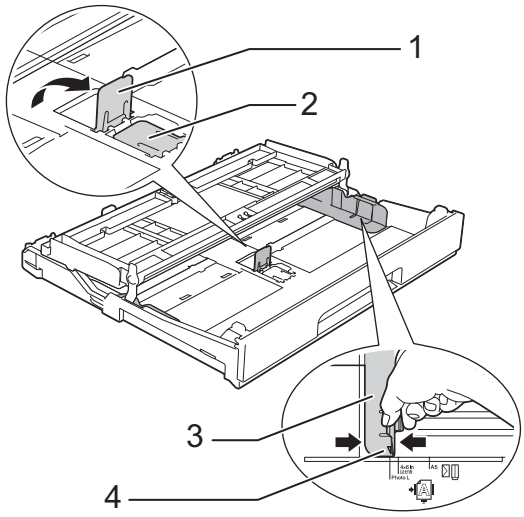
L 判、はがきをセットする

お願い

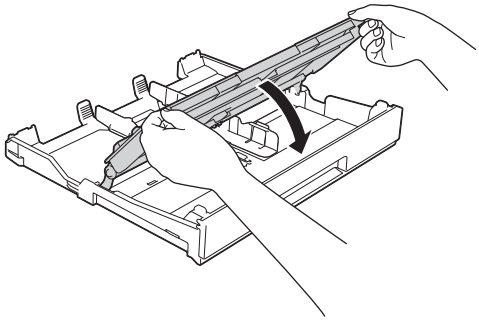
- インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。各種年賀状ソフトをお使いの時のみ、はがき自動両面印刷ができます。詳しくは http://support.brother.co.jp/ をご確認ください。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

3 L 判ストッパー（1）またははがきストッパー（2）を起こし、用紙ガイド（3）の▽の目印（4）を、用紙サイズの目盛りに合わせる

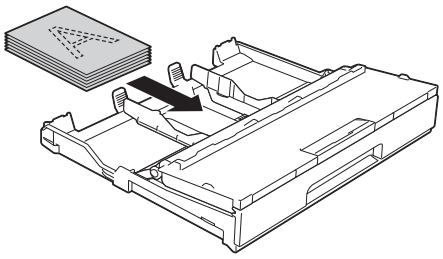
- ストッパーはセットする用紙にあわせてどちらかを起こしてください。
- 用紙ガイドは両手で動かしてください。



4 トレイカバーをいったん閉じる



5 用紙をさばき印刷したい面を下にして、用紙をセットする



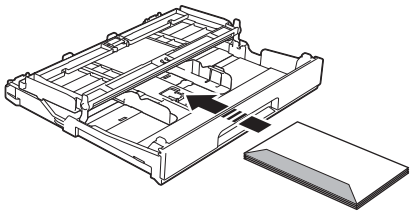
セットできたら再度トレイカバーを開いてください。

⇒手順 6 へ

封筒をセットする

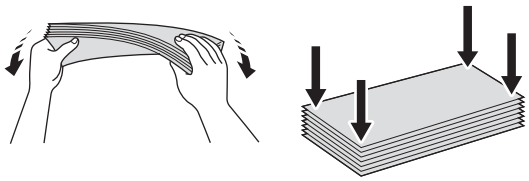
お願い

■ 長辺にふたの付いた封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。

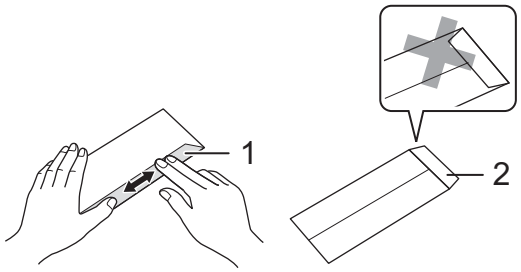


■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、手差しトレイを使って、封筒を 1 枚ずつセットしてください。

3 封筒にゆがみや折れがあればよくならし、上下左右をそろえる



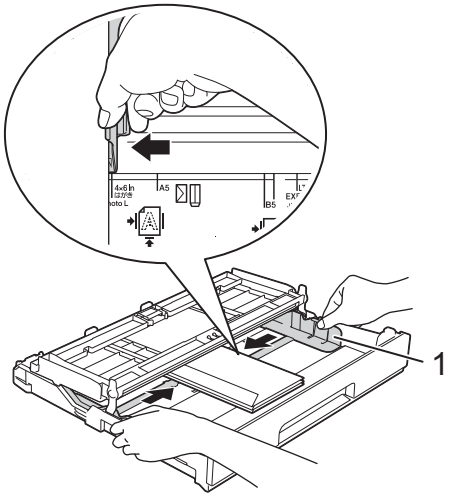
- 長辺に付いたふた（1）はしっかり折りたたんでください。
- 短辺に付いたふた（2）は折りたたまないでください。



- トレイ内に収まる封筒をセットする場合：⇒手順 4 へ
- 長形 3 号、長形 4 号で短辺にふたが付いたもの、またはそれ以上に長い封筒をセットする場合：⇒手順 5 へ

4 用紙ガイド（1）をいったん広げて封筒を用紙トレイの中央にセットし、用紙ガイドを封筒に合わせる

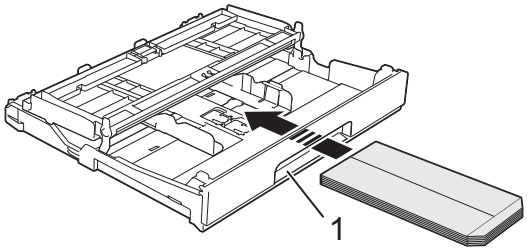
- 封筒は印刷面を下にしてセットしてください。
- 長辺に付いたふたはトレイの左側にくるようにセットしてください。



⇒手順 7 へ

5 封筒を長形封筒挿入口（1）からまっすぐに差し入れる

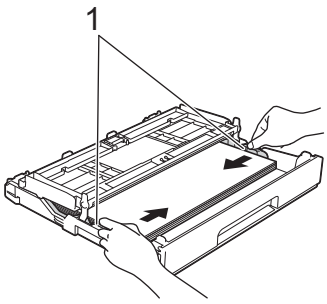
印刷が終わるまで封筒を折り曲げないように注意してください。



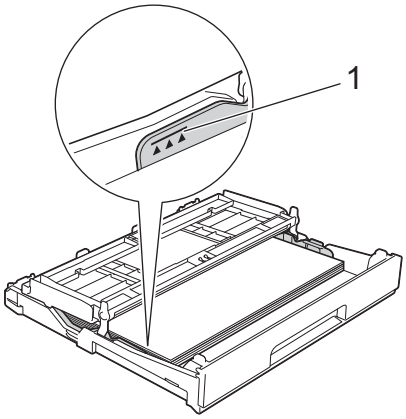
ここから先は、用紙の種類を問わず共通の手順になります。イラストは、A4 サイズを代表で使用しています。

6 用紙ガイド（1）を、用紙にぴったりと合わせる

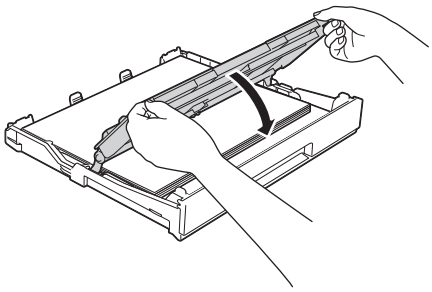
用紙ガイドは両手で動かしてください。



7 用紙がトレイ内側の△マーク（1）を超えていないことを確認する

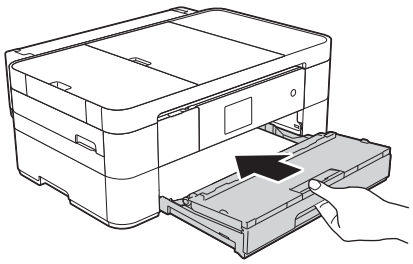


8 トレイカバーを閉める

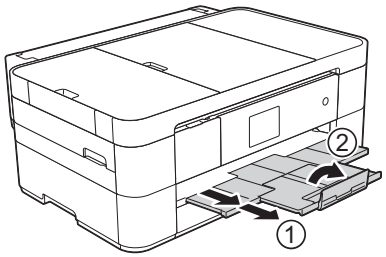


9 用紙トレイを元に戻す

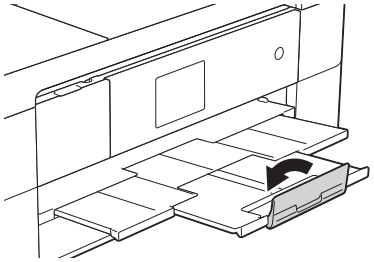
用紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



10 用紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



短辺にふたの付いた封筒をセットした場合は、用紙ストッパーのフラップを閉じてください。



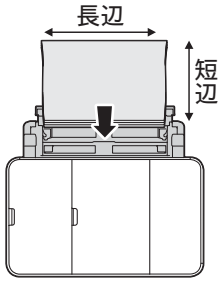
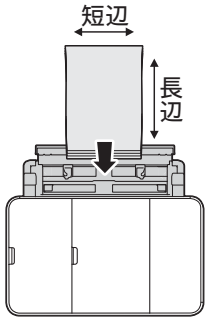
11 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」
⇒ 23 ページ「用紙トレイの設定をする」

多目的トレイにセットする

多目的トレイには、A4 サイズの普通紙で 80 枚、はがきサイズで 50 枚、封筒で 20 枚までセットできます。

● **用紙のサイズによってセットする向きが異なります。**

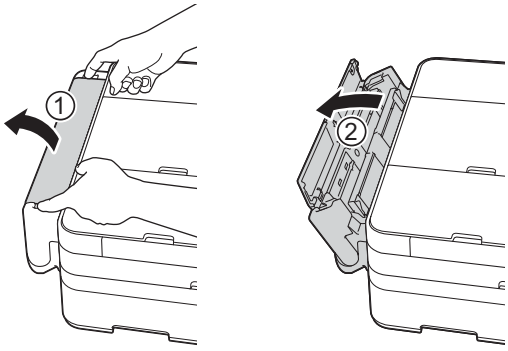
• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向  真上から見たところ
• A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒（角形 2 号を除く）	縦方向  真上から見たところ

【トレイ確認】が【オン】の場合は、多目的トレイに用紙をセットしたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙タイプまたは用紙サイズを変更してください。

トレイ確認設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

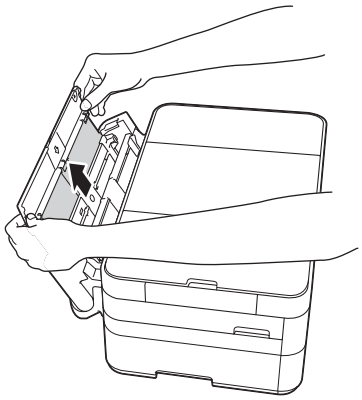
1 多目的トレイの上カバー（1）を開き、多目的トレイ（2）を開く

上カバーは両手で持ってください。

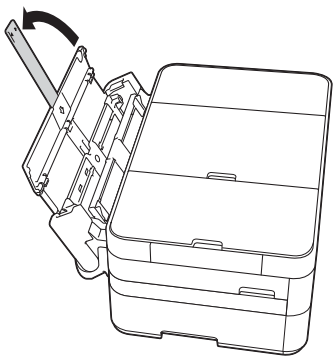


2 トレイユニットを、止まる位置まで引き上げる

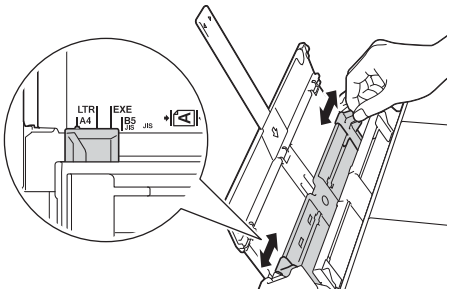
トレイユニットは両手で持ってください。



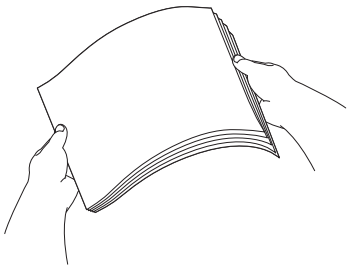
3 用紙サポーターを立てる



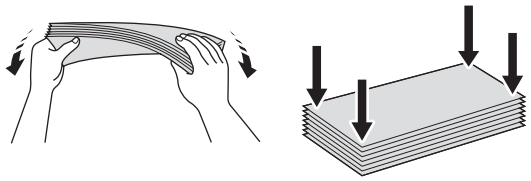
4 多目的トレイの用紙ガイドをつまんで動かし、用紙のサイズの目盛りに合わせる



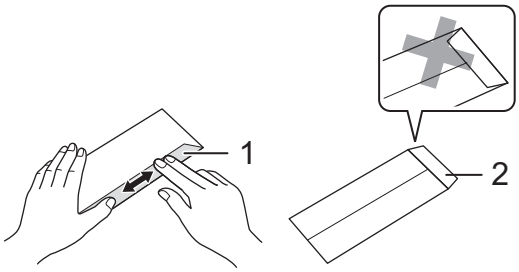
5 用紙をさばく



- はがきや封筒にゆがみや折れがあればよくならし、上下左右をそろえる

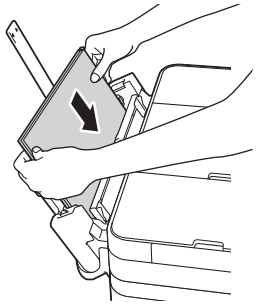


- 長辺に付いたふた（1）はしっかり折りたたんでください。
- 短辺に付いたふた（2）は折りたたまないでください。

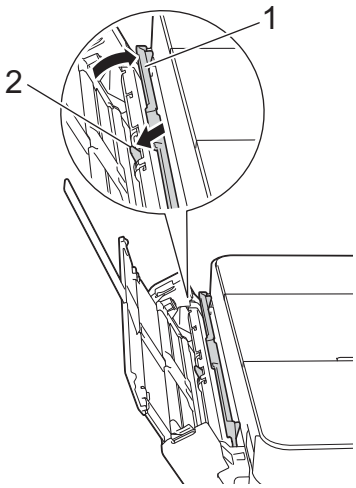


6 印刷する面を上にして、用紙をセットする

- 用紙が多目的トレイにセットされていることを確認してください。手差しトレイにセットしないでください。
- 長辺に付いたふたはトレイの左側にくるようにセットしてください。

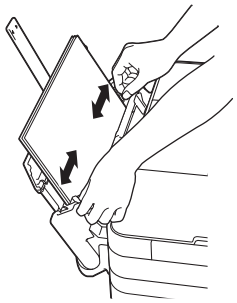


多目的トレイに用紙がセットできない場合は、手差しトレイ（1）を手前に倒して、解除レバー（2）を本体の後ろ方向に押しながら、用紙をセットしなおしてください。



7 用紙ガイドを、用紙のサイズにぴったりと合わせる

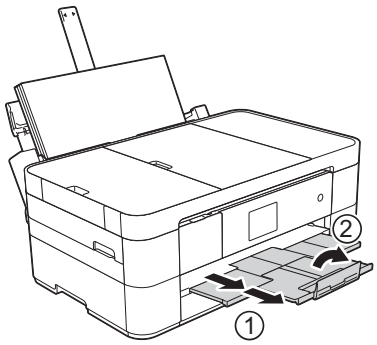
用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



お願い

- ■ ガイドで用紙を強くはさまないでください。用紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- ■ 中央にセットされなかった場合は、用紙をいったん取り出してセットし直してください。

8 用紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



印刷が終了してから多目的トレイを閉じてください。

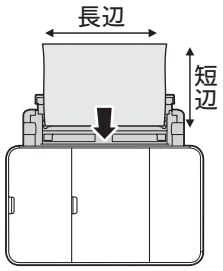
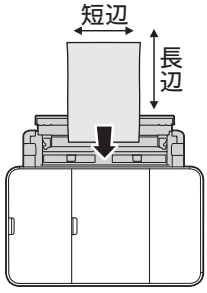
9 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」
⇒ 23 ページ「用紙トレイの設定をする」

手差しトレイにセットする

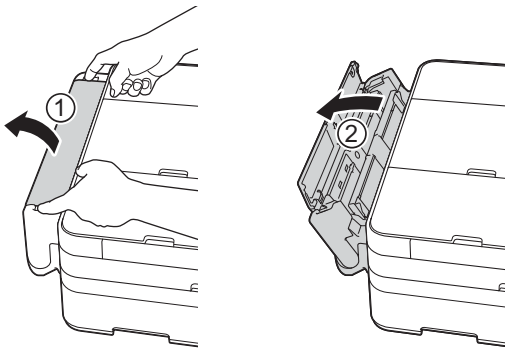
用紙トレイの用紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての用紙がセットできます。
一度にセットできるのは 1 枚です。

● 用紙のサイズによってセットする向きが異なります。

• A4 • US レター • エグゼクティブ • B5	横方向  真上から見たところ
• A3 • B4 • レジャー • リーガル • A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • 往復ハガキ • ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒	縦方向  真上から見たところ

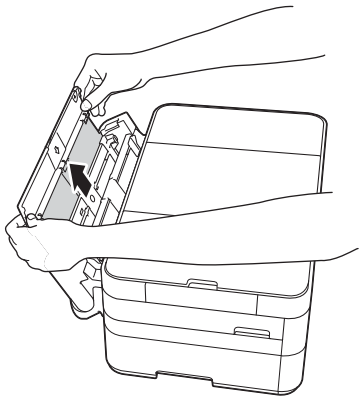
1 多目的トレイの上カバー（1）を開き、多目的トレイ（2）を開く

上カバーは両手で持ってください。

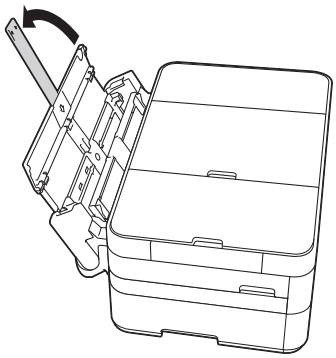


2 トレイユニットを、止まる位置まで引き上げる

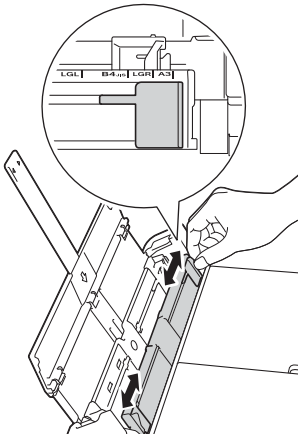
トレイユニットは両手で持ってください。



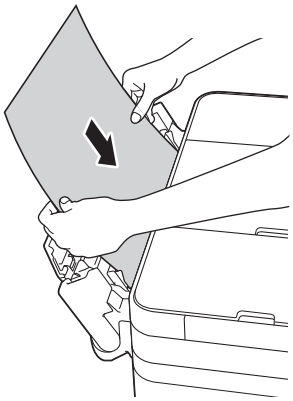
3 用紙サポーターを立てる



4 手差しトレイのガイドをつまんで動かし、用紙のサイズの目盛りに合わせる



5 印刷する面を上にして、用紙を 1 枚だけセットする

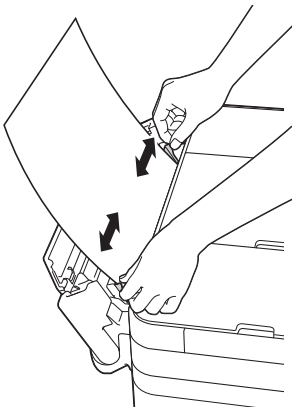


お願い

- 用紙を 2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙トレイからの印刷中に、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

6 ガイドを用紙のサイズに合わせる

用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。



お願い

- ガイドで用紙を強くはさまないでください。用紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、用紙をいったん取り出してセットし直してください。

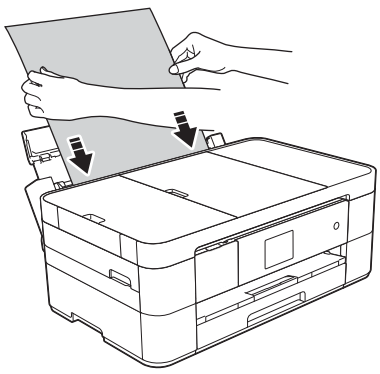
7 両手で用紙を挿入し、用紙が奥に当たるまで差し込む

用紙が奥に当たって、用紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。

画面に【手差しトレイに用紙がセットされました 用紙を 1 枚ずつセットしてください】と表示されます。

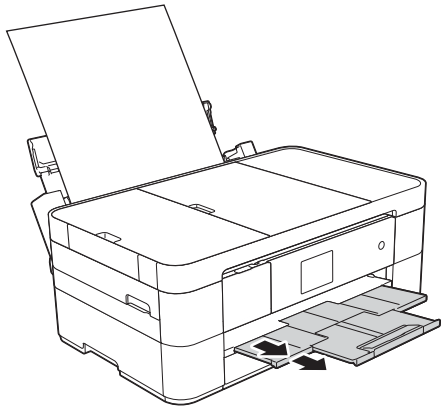
お願い

- 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで、奥まで確実に差し込んでください。

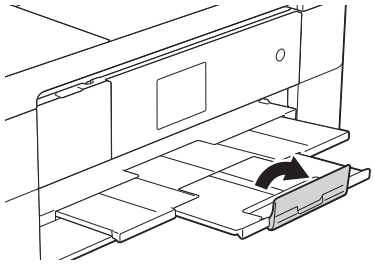


8 用紙ストッパーを確実に引き出す

A3、B4、レジャー、リーガルサイズの用紙と、短辺にふたの付いた封筒をセットした場合は、用紙ストッパーのフラップを閉じてください。



A4 以下の小さなサイズの用紙をセットした場合は、用紙ストッパーのフラップを開いてください。



用紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

A3 や B4 など、A4 より大きいサイズの場合は、印刷が終わっても床に落下しないように、本製品が用紙を保持します。メッセージに従って操作し、【OK】を押してください。

- 印刷が終了してから多目的トレイを閉じてください。
- 用紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。

用紙トレイの設定をする

[用紙トレイ設定]

コピー、プリント、デジカメプリントのときに使用する用紙トレイをあらかじめ選択できます。
プリントのときは、使用する用紙トレイの優先順位のみ設定できます。

コピー、デジカメプリントのときに使うトレイを選択する

コピー、デジカメプリントのときに使用する用紙トレイを選択します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【用紙トレイ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 設定する機能を選ぶ

- 【トレイ設定：コピー】
  コピーのときに使用する用紙トレイを設定します。
- 【トレイ設定：デジカメプリント】
  デジカメプリントのときに使用する用紙トレイを設定します。

4 【トレイ選択】を押す

5 使用するトレイを選ぶ

- 【用紙トレイ #1】
  常に用紙トレイを使用します。
- 【多目的トレイ】
  常に多目的トレイを使用します。
- 【トレイ自動選択】
  コピーモードやデジカメプリントモードの設定に合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

6 を押して設定を終了する

トレイの優先順位を変更する

トレイ設定で【トレイ自動選択】を選択した場合、またはプリントの時にプリンタードライバーの給紙方法で［自動選択］を選択した場合に、使用するトレイの優先順位を設定します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【用紙トレイ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 設定する機能を選ぶ

- 【トレイ設定：コピー】
  コピーのときに使用するトレイの優先順位を設定します。
- 【トレイ設定：プリント】
  プリントのときに使用するトレイの優先順位を設定します。
- 【トレイ設定：デジカメプリント】
  デジカメプリントのときに使用するトレイの優先順位を設定します。

4 【トレイ優先順位】を押す

5 トレイの優先順位を選ぶ

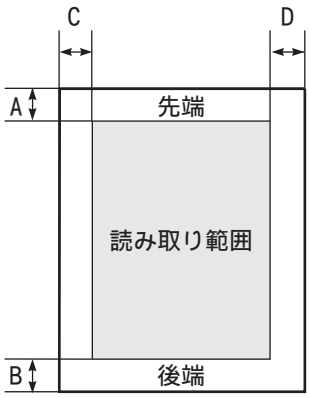
- 【用紙トレイ #1 ＞多目的トレイ】
  印刷の設定で選択した用紙タイプと用紙サイズが、どちらのトレイにも当てはまる場合、優先的に用紙トレイを使用します。
- 【多目的トレイ＞用紙トレイ #1】
  印刷の設定で選択した用紙タイプと用紙サイズが、どちらのトレイにも当てはまる場合、優先的に多目的トレイを使用します。

6 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



（単位：mm）

機能	原稿サイズ	A	B	C	D
コピー	セット可能な全てのサイズ	3		3	
スキャン		1		1	

第２章

お好みで設定する

日付と時刻を設定する 26
タイムゾーンを変更する 26

音量を設定する 28

画面の設定を変更する 29
画面の明るさを設定する 29
キーボードの文字配列を変更する 29
表示言語を「英語」に変更する 29

電力を節約する 30
スリープモードに入る時間を設定する 30
自動電源オフ機能を設定する 30

クイック起動を設定する 31

印刷音を軽減する 32

お気に入りを登録する 33
お気に入りに機能や設定条件を登録する 33
登録したお気に入りを呼び出す 35
お気に入りを編集する 35
お気に入りの登録名を変更する 35
お気に入りの設定条件を変更する 35
登録したお気に入りを削除する 35

セキュリティ機能ロックを設定する 36
セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する ... 37
管理者パスワードを設定する 38
管理者パスワードを登録する 38
管理者パスワードを変更する 38
ユーザーを登録する 38
セキュリティ機能ロックをオン / オフにする 39
セキュリティ機能ロックをオンにする 39
セキュリティ機能ロックをオフにする 39
ユーザーを切り替える 39

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は、本製品が自動メンテナンスを行うときに使用されます。（待ち受け画面には、日時は表示されません。）

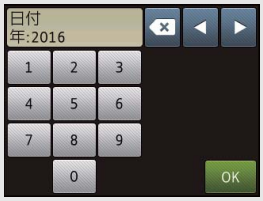
1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



4 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

2016 年の場合は、【1】【6】と押します。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】と押します。

7 【時刻】を押す

時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、【OK】を押す

午後 0 時 45 分の場合は、
【1】【2】【4】【5】と押します。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻ります。

タイムゾーンを変更する

タイムゾーン設定とは、世界標準時間と日本時間の時差の設定です。お買い上げ時は、日本国用のタイムゾーン（時差＋ 9 時間）が設定されているので、特に設定し直す必要はありません。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【タイム ゾーン】を押す

4 画面に表示されているテンキーで【0】、【9】と押す

世界標準時間に対し日本は 9 時間早いため、09：00 の前に「＋」が表示されていることを確認してください。世界標準より早いか遅いかは【＋ / －】で切り替えることができます。

> 時刻の前に表示されている「UTC」は、協定世界時（Universal Time, Coordinated）のことで、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な国際標準時として使用されています。

5 【OK】を押す

時差＋ 9 時間が設定されます。

6 を押して設定を終了する

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【ボタン確認音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

4 を押して設定を終了する

ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

画面の明るさを設定する

［画面の設定］

画面の明るさと、バックライトを暗くするまでの時間を設定できます。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **変更したい項目を選ぶ**

- 【画面の明るさ】：
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】：
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

4 **目的の設定を選ぶ**

- 画面の明るさ：
  【明るく／標準／暗く】から選びます。
- 照明ダウンタイマー：
  【切／10 秒／20 秒／30 秒】から選びます。

5 **必要に応じて、手順 3、4 を繰り返し、画面設定を変更する**

6 **を押して設定を終了する**

キーボードの文字配列を変更する

［キーボード設定］

アルファベットキーボードの文字配列を 2 種類の中から選べます。お買い上げ時は、市販されている一般的なパソコンのキーボードで使われる、QWERTY 配列に設定されています。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【キーボード設定 (英字入力)】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **【QWERTY 入力】または【かなめくり入力】を押す**

4 **を押して設定を終了する**

表示言語を「英語」に変更する

［表示言語設定］

画面の表示言語を英語に切り替えることができます。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】、【英語】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **を押して設定を終了する**

電力を節約する

スリープモードに入る時間を設定する

［スリープモード］

設定した時間内にパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【1 分／2 分／3 分／5 分／10 分／30 分／60 分】から選びます。

4 を押して設定を終了する

自動電源オフ機能を設定する

［自動電源オフ］

設定した時間内にパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品の電源が自動的に切れるように設定できます。

> 自動電源オフの時間を設定していても、【無線 LAN 有効】が【オン】の場合は無効になります。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【自動電源オフ】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【オフ／1 時間／2 時間／4 時間／8 時間】から選びます。

※【オフ】の場合は、自動電源オフは機能しません。

4 を押して設定を終了する

クイック起動を設定する

クイック起動モードを【オン】に設定すると、電源ボタンを押して電源をオンにしたとき、初期化や起動画面の表示などを行わずに待機状態に戻るため、通常の電源オンよりも短い時間で待ち受け画面の表示になります。

1 **【メニュー】を押す**

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、【クイック起動モード】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **【オン】を押す**

4 **を押して設定を終了する**

印刷音を軽減する

静音モードを【オン】に設定すると、印刷速度を遅くして印刷音を減らすことができます。

1. **【メニュー】を押す**
2. **【静音モード】を押す**
3. **【オン】を押す**
4. **を押して設定を終了する**

   待ち受け画面に静音モードアイコンが表示されます。

お気に入りを登録する

「お気に入り」としてお好みの設定条件を登録することができます。
お気に入りに登録できるメニューおよび設定条件は次の通りです。設定条件を変更すると、さらに細かくお気に入りを登録できます。

機能	第 1 選択項目（メニュー）	第 2 選択項目（設定条件）
コピー	コピー画質、用紙タイプ、用紙サイズ、用紙トレイ選択、拡大 / 縮小、コピー濃度、スタック / ソート、レイアウトコピー、両面コピー、便利なコピー設定	各項目の設定値 詳しくは⇒ 42 ページ「設定を変えてコピーするには」
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、ADF 長尺原稿モード、ファイル名、おまかせ一括スキャン、ADF 傾き補正、地色除去
	FTP サーバー ネットワーク	プロファイル名
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。 詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	
お役立ちツール	原稿を赤色のペンで囲むと、その部分だけを抜き出してスキャン、コピー、削除できる機能などをお気に入りに登録することができます。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	

お気に入りに機能や設定条件を登録する

1 待ち受け画面の【お気に入り】を押す

2 【未登録】のボタンを押す

【未登録】のボタンが表示されていない時は◀/▶を押して画面を送ります。

3 登録したい機能を選ぶ

【コピー／スキャン／クラウド／お役立ちツール】から選びます。

コピーを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 コピーメニューを選ぶ

6 必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

スキャン機能をお気に入りに登録する場合は、あらかじめ以下のように準備をしておいてください。

- ファイル /OCR/ イメージ /E メール添付：
  本製品をパソコンに接続してください。
- メディア：
  メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットしてください。
- ネットワーク /FTP サーバー：
  本製品をパソコンのネットワークに接続してください。

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル /OCR/ イメージ /E メール添付：
  保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ
- メディア：
  ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ
- ネットワーク /FTP サーバー：
  プロファイル名を選び、【OK】を押します。プロファイル名は、パソコンのウェブブラウザーからあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワークをご覧ください。⇒手順 8 へ

クラウドまたはお役立ちツールを選んだ場合

クラウドまたはお役立ちツールをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

✕ を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスまたはお役立ちツールを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 アカウントの選択画面が出た場合は、アカウントを選択して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードも入力してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 8 へ

7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

8 画面に表示されたキーボードで名前を入力して、【OK】を押す

⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り 01 など）はいったん消してください。

⇒ 86 ページ「文字の入力方法」

9 【OK】を押して登録を終了する

登録したお気に入りを呼び出す

1 待ち受け画面の【お気に入り】を押す

2 呼び出したいお気に入りを押す

メニューが表示されていない時は◀/▶を押して画面を送ります。

画面に設定条件が表示されます。スタートキーを押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

1 待ち受け画面の【お気に入り】を押す

2 名前を編集したいお気に入りを２秒以上押す

3 【お気に入り名の編集】を押す

4 ⌫を押して古い名前を消去する

長押しすると登録名は一度に消去されます。

5 画面に表示されたキーボードで名前を再入力して、【OK】を押す

お気に入りの設定条件を変更する

1 変更したいお気に入りを呼び出す

⇒ 35 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

2 設定条件を変更する

機能により、変更画面が違います。
⇒ 33 ページ「お気に入りを登録する」

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

3 【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

4 【はい（上書き）】を押す

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて保存してください。

5 【OK】を押して設定を終了する

登録したお気に入りを削除する

1 待ち受け画面の【お気に入り】を押す

2 削除したいお気に入りを 2 秒以上押す

3 【消去】を選ぶ

4 【はい】を押す

セキュリティ機能ロックを設定する

管理者が「ユーザー名（ID 名）」と「パスワード」を登録して利用者に割り振り、利用できる機能をユーザーごとに制限することができます。セキュリティ機能ロックは、初期の設定や利用制限管理をネットワーク上のパソコンから行うため、本製品もネットワークに接続されている必要があります。ご利用になる場合は、本製品をいったんネットワークに接続してください。⇒かんたん設置ガイド
設定後は、本製品単独でセキュリティ機能ロックのオン / オフを切り替えたり、ユーザーを切り替えたりできます。制限がかけられる機能は次のとおりです。

- PC プリント
- コピー
- スキャン
- デジカメプリント
- スキャン：メディア
- クラウド接続 アップロード
- クラウド接続 ダウンロード
- 枚数制限
- カラープリント

管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン / オフ、制限管理、変更を行えます。設定または変更するには、管理者パスワードが必要です。パスワードを忘れた場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

セキュリティ機能ロックを利用する場合は、個別ユーザー以外の一般ユーザー用に、「一般モード」の利用制限を設定してください。

セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

ネットワーク上のパソコンでウェブブラウザーを起動し、セキュリティ機能ロックの設定画面を表示させます。

ここで設定するパスワードは、本製品の設定画面を表示するためのものです。セキュリティ機能ロックの管理者パスワードではありません。

1 本製品の IP アドレスを調べる

設定には、本製品の IP アドレス情報が必要です。あらかじめ、「ネットワーク設定リスト」を印刷して、IP アドレスをご確認ください。

⇒ 84 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」

2 パソコンでウェブブラウザーを起動する

3 アドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力する

例：192.168.1.2 の場合は、「http://192.168.1.2/」と入力します。

4 [ログイン] にパスワードを入力し、→ をクリックする

はじめて設定画面を表示したときは、ここでパスワードを設定します。

(1) [パスワードを設定してください] をクリックする

(2) [新しいパスワードの入力] にパスワードを入力する
32 文字まで入力できます。

(3) [新しいパスワードの確認] に、パスワードをもう一度入力する

(4) [OK] をクリックする

5 [管理者設定] タブー [セキュリティ機能ロック] をクリックする

セキュリティ機能ロックの設定画面が表示されます。

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを登録する

「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」(⇒ 37 ページ) で設定画面を表示したあと、管理者パスワードを登録します。
セキュリティ機能ロックは、パスワードを知る管理者だけが設定できます。
パスワードを変更することもできます。

1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

⇒ 37 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 [新しいパスワードの入力] に、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力する

3 [新しいパスワードの確認] に、管理者パスワードをもう一度入力する

4 画面下部の [OK] をクリックし、管理者パスワードを登録する

管理者パスワードを変更する

パスワードを忘れた場合は、コールセンター (お客様相談窓口) にご連絡ください。

1 「管理者パスワードを登録する」(38 ページ) の手順 2、3 で、新しい管理者パスワードを入力する

2 画面下部の [OK] をクリックする

ユーザーを登録する

一般モードと個別のユーザーを登録します。個別のユーザーは 10 人 (ユーザー) まで登録できます。それぞれ名前とパスワード、利用できる機能を設定してください。セキュリティ機能ロックを【オン】にすると、個別のユーザーに切り替えない限り、本製品は常時一般モードとなります。

1 セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する

⇒ 37 ページ「セキュリティ機能ロックの設定画面を表示する」

2 [セキュリティ機能ロック] の [オン] をクリックする

3 [一般モード] で制限したい機能のチェックを外す

一般モードは、本製品を利用するときにパスワード入力を必要としないモードです。

4 未登録のユーザーを選び、[制限 ID 番号 /ID 名] に、ユーザー名を入力する

7 文字まで入力できます。

5 [パスワード] に、このユーザー用のパスワードを 4 桁の数字で入力する

他のユーザーと同じパスワードは設定できません。

6 このユーザーに制限したい機能のチェックを外す

印刷できるページ枚数を制限するには、[印刷制限] の [オン] にチェックを入れて、[最大ページ数] に枚数を入力します。

7 必要に応じて、手順 4 ～ 6 を繰り返し、他のユーザーを登録する

8 画面下部の [OK] をクリックして登録を終了する

セキュリティ機能ロックをオン / オフにする

セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると、一般モードが有効になります。個別ユーザーの設定を有効にするには、⇒ 39 ページ「ユーザーを切り替える」を参照してください。

1 【メニュー】を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【セキュリティ 機能ロック】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ロック オフ⇒オン 】を押す

4 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

セキュリティ機能ロックがオンに設定されます。

セキュリティ機能ロックをオフにする

1 待ち受け画面の または【ユーザー切替】を押す

2 【ロック オン⇒オフ】を押す

3 画面に表示されているテンキーで、管理者パスワードを 4 桁の数字で入力し、【OK】を押す

ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックがオンのときに、登録されている個別のユーザーが本製品を使用できるように切り替えます。

1 待ち受け画面の または【ユーザー切替】を押す

2 【ユーザー切替】を押す

3 切り替えたいユーザーを選ぶ

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 画面に表示されているテンキーで、このユーザー用に設定されたパスワードを入力し、【OK】を押す

- 一般モードに戻るには、を押し、【一般モードへ切替】を押します。
- 個別のユーザーが本製品を使用したあと、一般モードに戻さず放置しても、1 分後に自動で一般モードに戻ります。

Memo

第 3 章

コピー

いろいろなコピー 42
設定を変えてコピーするには 42
スタック / ソートコピーする 44
レイアウトコピーする 45
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べて
コピーする（N in 1 コピー） 45
カードの両面を 1 枚の A4 用紙にコピーする
（ID カードコピー） 46
1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する
（ポスターコピー） 47
両面コピーする 48
インクを節約してコピーする 50
コピー時の裏写りを抑える 50
ブックコピーする 51
コピーに文字を重ねる 51
原稿の地色を除去してコピーする 52

A3 用紙を使った便利なコピー 53

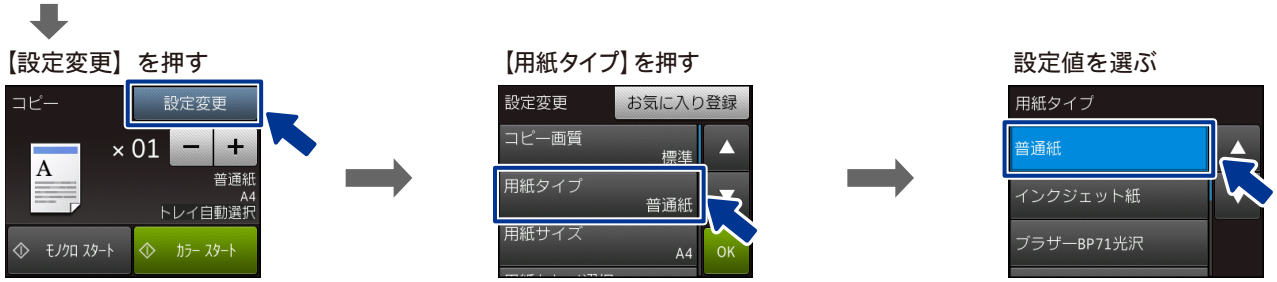
いろいろなコピー

設定を変えてコピーするには

待ち受け画面の【コピー】を押して、画面に表示される【設定変更】から、コピーの設定が変更できます。

例:用紙タイプ

待ち受け画面の【コピー】を押す



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。

(2) 用紙タイプ

使用する用紙に合わせて、用紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

使用する用紙に合わせて、用紙サイズを設定します。
【A4 ／ A3 ／ B4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

(4) 用紙トレイ選択

コピー時に使用する用紙をセットしたトレイを設定します。
【用紙トレイ #1 ／多目的トレイ／トレイ自動選択】

(5) 拡大 / 縮小

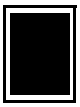
倍率を変更してコピーします。
【等倍 100%】
【拡大】
- 【240% L 判 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ ⇒ A4】
- 【141% B5 ⇒ B4, A4 ⇒ A3】
- 【123% A5 ⇒ B5】
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【113% L 判 ⇒ ハガキ】*1

【縮小】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【46% A4 ⇒ ハガキ】
- 【40% A4 ⇒ L 判】

【用紙に合わせる】*2
【カスタム (25-400%)】*3

拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。

*1 L 判タテ向きの写真 (127mm × 89mm) をハガキにフィットさせます。



*2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。【用紙に合わせる】は次のような制約があります。
- 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。

*3 画面に表示されているテンキーで倍率を入力し、【OK】を押します。

(6) コピー濃度

コピーの濃度を調整します。5 段階の調整ができます。

(7) スタック / ソート

⇒ 44 ページ「スタック / ソートコピーする」

(8) レイアウト コピー

⇒ 45 ページ「レイアウトコピーする」

(9) 両面コピー

⇒ 48 ページ「両面コピーする」

(10) 便利なコピー設定

その他のいろいろなコピーができます。
- 【インク節約モード】⇒ 50 ページ「インクを節約してコピーする」
- 【裏写り除去コピー】⇒ 50 ページ「コピー時の裏写りを抑える」
- 【ブックコピー】⇒ 51 ページ「ブックコピーする」
- 【透かしコピー】⇒ 51 ページ「コピーに文字を重ねる」
- 【地色除去コピー】⇒ 52 ページ「原稿の地色を除去してコピーする」

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

(13) お気に入り登録

設定変更をしたあとで、【お気に入り登録】を押すと、現在の設定がお気に入りとして登録できます。

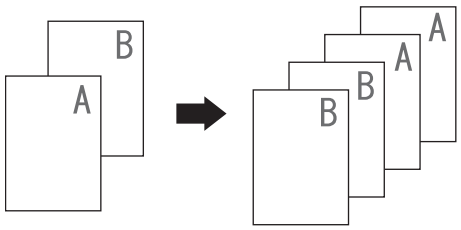
スタック / ソートコピーする

[スタック / ソート]

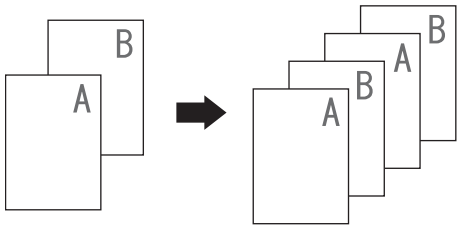
複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

> A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

- スタックコピー
  ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
  一部ごとにまとめて排出します。



❶ 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

❷ 【コピー】を押す

❸ 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

❹ 【設定変更】を押す

❺ 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

❻ 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

❼ 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次のページをセットして［読み取り開始］を押してください　全てのページが終わったら［読み取り完了］を押してください／読み取り開始／読み取り完了】と表示されます。

❽ 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【読み取り開始】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順❾に進みます。

❾ 【読み取り完了】を押す

レイアウトコピーする

[レイアウトコピー]

複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1（タテ長）

- 2in1（ヨコ長）

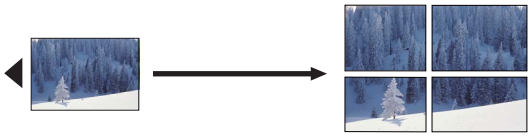
- 2in1（ID カード）

- 4in1（タテ長）

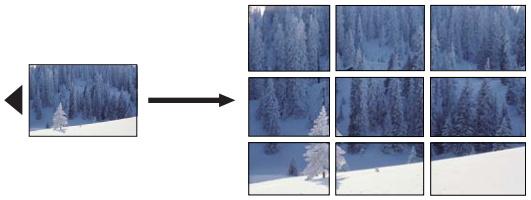
- 4in1（ヨコ長）

- ポスター（2x1）

- ポスター（2x2）



- ポスター（3x3）



2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーする（N in 1 コピー）

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーします。

- 2in1（タテ長）/2in1（ヨコ長）で使用できる用紙は、A3、B4、A4 サイズのみです。
- 4in1（タテ長）/4in1（ヨコ長）で使用できる用紙は、A4 サイズのみです。
- A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選び、【OK】を押す

【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】から選びます。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして［読み取り開始］を押してください　全てのページが終わったら［読み取り完了］を押してください／読み取り開始／読み取り完了】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- 次の原稿がない場合⇒【読み取り完了】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして【読み取り開始】を押す

【4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】を選択している場合は、以下の操作を行います。

- 次の原稿がある場合⇒この手順を繰り返します。
- 次の原稿がない場合⇒【読み取り完了】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

カードの両面を 1 枚の A4 用紙にコピーする（ID カードコピー）

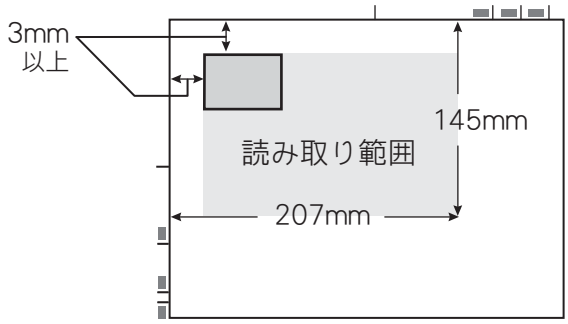
運転免許証のようなカードの両面を 1 枚の A4 用紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。

使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【2in1（ID カード）】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると【ID カードを裏返して［読み取り開始］を押してください　終了する場合は［読み取り完了］を押してください／読み取り開始／読み取り完了】と表示されます。

8 原稿を裏返してセットし、【読み取り開始】を押す

1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する（ポスターコピー）

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の用紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

- ポスター（2x1）、ポスター（3x3）で使用できる用紙は、A4 サイズのみです。
- ポスター（2x2）で使用できる用紙は、A3、A4 サイズのみです。

1 分割される枚数以上の用紙がセットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 【コピー】を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選び、【OK】を押す

【ポスター（2x1）／ポスター（2x2）／ポスター（3x3）】から選びます。

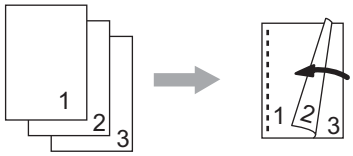
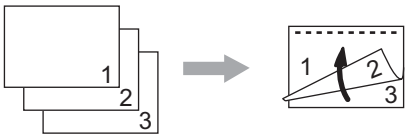
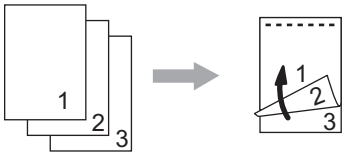
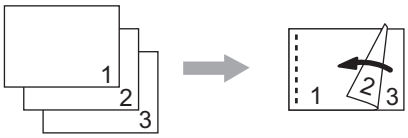
7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

両面コピーする

[両面コピー]

原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面 1 枚にコピーできます。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

		印刷の向き：縦（たて長原稿）	印刷の向き：横（よこ長原稿）
片面⇒両面	長辺とじ		
	短辺とじ		
両面⇒両面			

- 両面コピーで使用できる用紙は、A4、B5、A5 サイズの普通紙のみです。
- 原稿が片面の場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することをお勧めします。
  原稿が両面の場合や冊子、A6 サイズ以下の原稿の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 必要に応じて【あんしん設定】を選ぶ

紙づまりや印刷汚れを軽減します。

- 【あんしん 1】：
  印刷速度を落とします。
- 【あんしん 2】：
  印刷速度を落とし、インク量を抑えます。

7 原稿の綴じ方を選ぶ

【オフ／片面⇒両面 長辺とじ／片面⇒両面 短辺とじ／両面⇒両面】から選びます。

原稿のセット方法の確認画面が表示されます。原稿のセット方法を確認して【OK】を押します。

8 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す

9 【OK】を押す

⑩ 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。
両面にコピーする場合、原稿 1 枚目を印刷すると用紙はいったん排出されますが、2 枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで用紙に触れないでください。3 枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは用紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして［読み取り開始］を押してください　全てのページが終わったら［読み取り完了］を押してください／読み取り開始／読み取り完了】と表示されます。

⑪ 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【読み取り開始】を押す

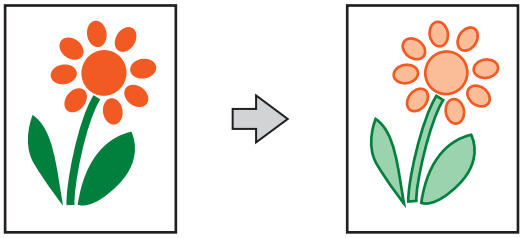
手順 ⑧ で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑫ に進みます。

⑫ 【読み取り完了】を押す

インクを節約してコピーする

［インク節約モード］

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

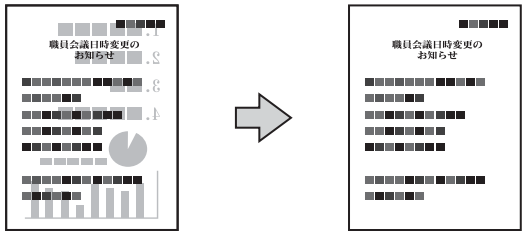
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

［裏写り除去コピー］

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

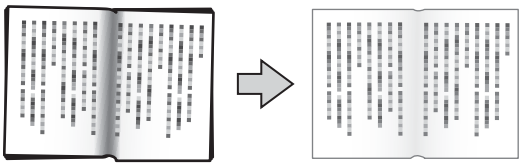
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ブックコピーする

［ブックコピー］

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置）を使用してブックコピーはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

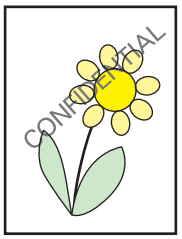
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーに文字を重ねる

［透かしコピー］

コピーと同時に、設定した透かし文字をコピー画像に追加できます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：−45°
透過度：+2
色：黒

※ 右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 透かしの設定を行う

【テキスト／位置／サイズ／回転／透過度／色】の項目を設定します。
それぞれの設定値を選び、【OK】を押します。

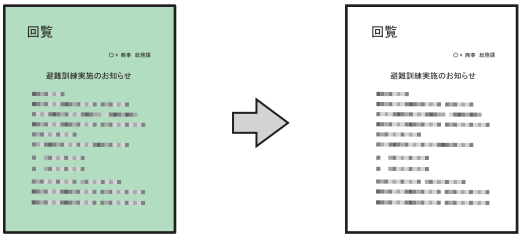
7 【OK】を押す

8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

[地色除去コピー]

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



A6 サイズ以下の原稿は ADF（自動原稿送り装置）にセットできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 設定を選ぶ

【弱／中／強】から選びます。

7 【OK】を押す

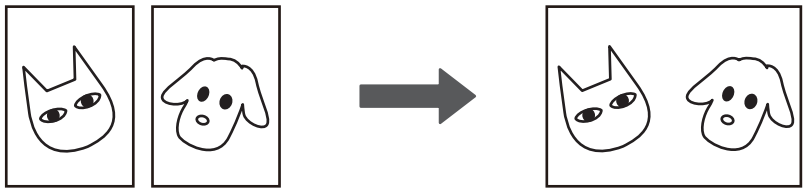
8 【カラー スタート】を押す

A3 用紙を使った便利なコピー

本製品には、A3 用紙を使ってコピーする場合、各種の設定が簡単にできるように、【便利な A3 コピー】というメニューが、待ち受け画面に用意されています。
A4 原稿と A3 用紙をセットしてメニューを選ぶだけの簡単操作で製品内蔵の罫線を自動的に配置するなど、実用的なメニューもあります。

A3 2in1

原稿2枚を用紙1枚にまとめます。

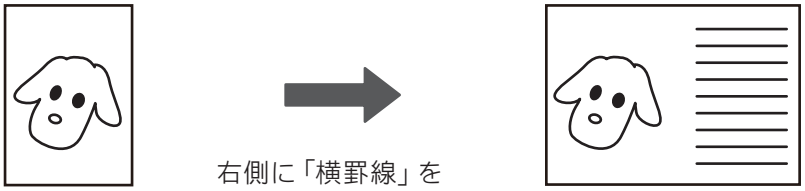


A4 ⇒ A3 拡大

拡大率や用紙サイズ設定でもう迷いません。

A4 ＋ ノート(横)

資料とレポート用紙を組み合わせて。



A4 ＋ ノート(縦)

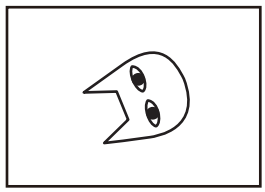
縦書きでもOK。趣味のサークルや授業の課題づくりに。
横長原稿なら、下に横罫線が付くイメージです。

A4 ＋ 方眼

幼児向け学習プリントを手作りで。絵を見ながら、字や作文を楽しく練習。

A4 ＋ メモ

会議の議事録を走り書きしても大丈夫。

A4 センター 注釈やアイデアを書き込む 余白がまわりに欲しい！	 A4原稿 原寸のまま用紙の 中央にコピーします。  A3用紙

1 A3 用紙を手差しトレイに 1 枚だけセットする

⇒ 20 ページ「手差しトレイにセットする」

2 原稿をセットする

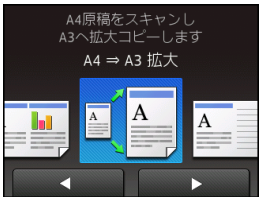
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

3 ◀/▶を押して画面を送り、【便利な A3 コピー】を押す

便利な A3 コピーについての案内が表示されます。内容を確認して【OK】を押します。

4 便利な A3 コピーメニューを選ぶ

◀/▶を押して目的の A3 コピーメニューのアイコンを中央に表示させた後、アイコンを押して選びます。



5 【−】/【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

6 【設定変更】を押して、必要な設定を行い、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿台ガラスに原稿をセットして、【A3 2in1】メニューを選択した場合、1 枚目の原稿の読み取りが終わると【次のページをセットして［読み取り開始］を押してください　全てのページが終わったら［読み取り完了］を押してください／読み取り開始／読み取り完了】と表示されます。次の原稿をセットして【読み取り開始】を押します。

第 4 章

スキャン

スキャンしたデータをメディアに保存する 56
スキャンしたデータをメモリーカードまたは
USB フラッシュメモリーに保存する 56
複数の原稿を一度にスキャンする 57

スキャンしたデータをメディアに保存する

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

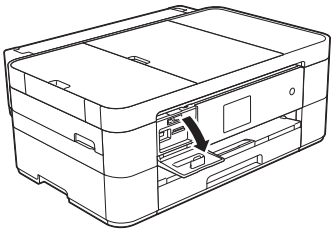
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

［メディア］

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

4 【スキャン：メディア】を押す

5 【設定変更】を押して、必要な設定を行い、【OK】を押す

設定項目	機能説明
カラー設定	カラーを設定します。
解像度	解像度を設定します。
ファイル形式	ファイル形式を設定します。
スキャンサイズ	スキャンする原稿のサイズを設定します。
ADF 長尺原稿モード	長尺の原稿をセットしてスキャンするかどうか、オン／オフで設定します。
ファイル名	ファイル名を設定します。
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。詳しくは、⇒ 57 ページ「複数の原稿を一度にスキャンする」
ADF 傾き補正	ADF（自動原稿送り装置）から原稿を読み取った場合に、原稿の傾きを自動的に補正します。
地色除去	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。
設定を保持する	変更した内容を初期値として登録できます。
設定をリセットする	お買い上げ時の設定に戻します。

6 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【メディアを抜かないでください　次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合：⇒手順 9 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合：⇒手順 7 へ

7 【はい】を押す

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されます。

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 7、8 を繰り返します。

9 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

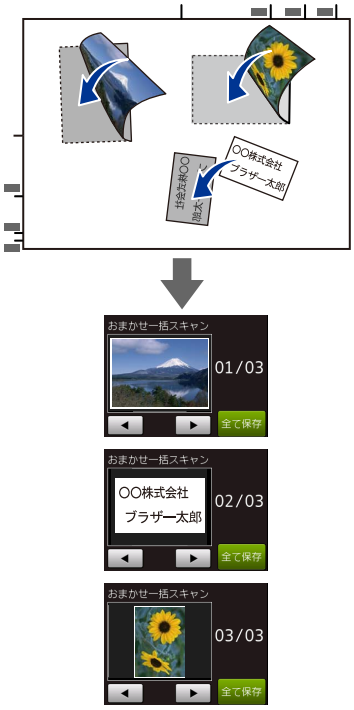
重 要

■ アクセス中は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

複数の原稿を一度にスキャンする

［おまかせ一括スキャン］

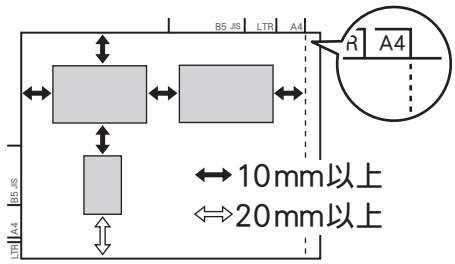
複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 原稿をセットするときは、下記の範囲を空けてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  右：A4 サイズのガイド線から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- 原稿の間隔は、10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

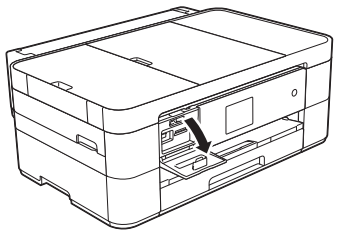


- 「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

4 【スキャン：メディア】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【おまかせ一括スキャン】を押す

キー が表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

7 【オン】を押す

8 【OK】を押す

9 【スタート】を押す

スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

10 【OK】を押す

スキャン 結果が画面に表示されます。

◀/▶ で前後の画像を確認できます。

11 【全て保存】を押す

メモリーカード またはUSB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

第 5 章

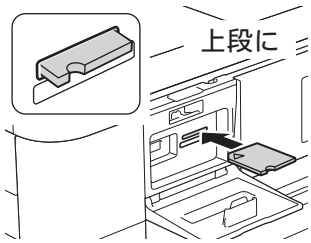
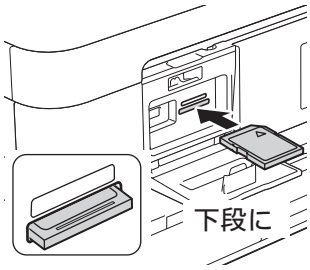
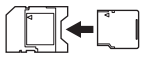
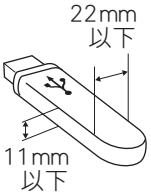
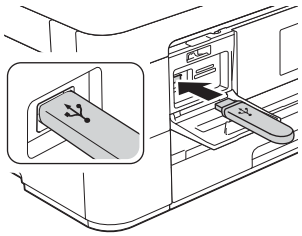
デジカメプリント

写真をプリントする 60
使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー 60
設定を変えてプリントするには 61
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする 64
動画プリントについて 64
インデックスシートをプリントする 65
インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする 66
多様な補正機能を使ってプリントする 67
色や明るさを補正する（お好み色補正） 67
画像の一部を切り取る（トリミング） 68
補正とトリミングを同時に行う（お好み色補正＆トリミング） 69
証明写真プリントをする 70
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する 71
スライドショーの途中でプリントする 72
DPOF を使用してプリントするには 72

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 73
PictBridge とは 73
デジタルカメラで行う設定 73
写真をプリントする 73

写真をプリントする

使用できるメモリーカードと USB フラッシュメモリー

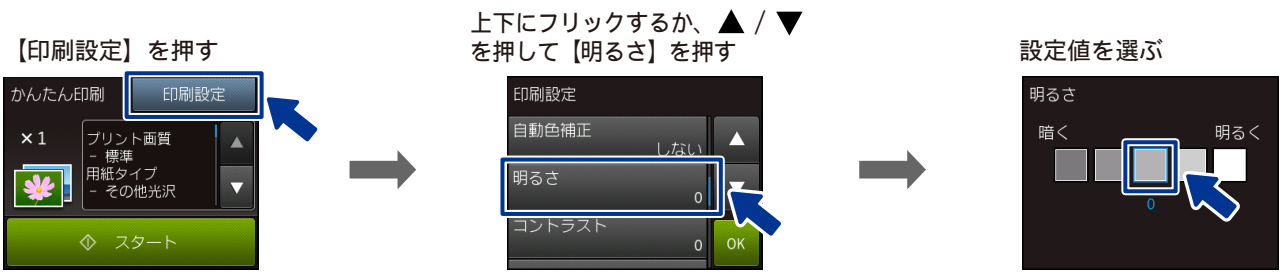
種類	セットする位置
メモリースティック デュオ ™（最大 128MB） メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）	
メモリースティック マイクロ ™（M2™） （最大 32GB） アダプターが必要です	
SD メモリーカード（最大 2GB） SDHC メモリーカード（最大 32GB） SDXC メモリーカード（最大 128GB） マルチメディアカード（最大 2GB） マルチメディアカード プラス（最大 4GB） 	
miniSD カード（最大 2GB） microSD カード（最大 2GB） miniSDHC カード（最大 32GB） microSDHC カード（最大 32GB） マルチメディアカード モバイル（最大 1GB）  アダプターが必要です	
USB フラッシュメモリー（最大 64GB） 	

画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。

例：明るさ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

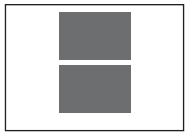
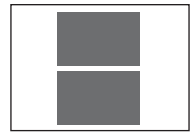
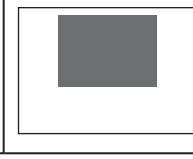
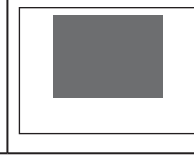
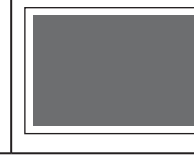
- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

(2) 用紙タイプ

プリントする用紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3】
【A4】 を選んだ場合は、プリントサイズを以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷
					

(4) 用紙トレイ選択

デジカメプリント時に使用する用紙をセットしたトレイを設定します。
【用紙トレイ #1 ／多目的トレイ／トレイ自動選択】

(5) プリントレイアウト

1 枚の用紙に複数枚の写真を割り付けてプリントします。
【オフ／ 1x2 ／ 2x2 ／ 2x4 ／ 3x3 ／ 4x4】
用紙サイズによって選択できるレイアウトが異なります。

- 用紙サイズが 【A4】【A3】 の場合
  【1x2 ／ 2x2 ／ 2x4 ／ 3x3 ／ 4x4】
- 用紙サイズが 【2L 判】 の場合
  【1x2 ／ 2x2 ／ 2x4 ／ 3x3】
- 用紙サイズが 【L 判】【ハガキ】 の場合
  【1x2 ／ 2x2】

(6) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(7) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。5 段階の調整ができます。

(8) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。5 段階の調整ができます。【+】はコントラストが強くなり、【−】はコントラストが弱くなります。

(9) 画質強調

(1) **▲/▼を押して画面を送り、【画質強調】を押す**

(2) **更に【画質強調】を押して、【する】を押す**

(3) **設定する項目を選ぶ**

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) **◀/▶でレベルを調整し、【OK】を押す**

(5) **手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する**

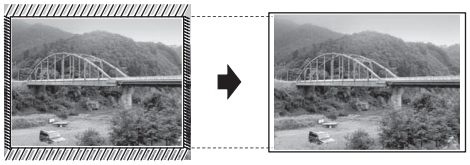
(6) **【OK】を押す**

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した100万画素以上の画像は【画質強調】を設定しないでください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

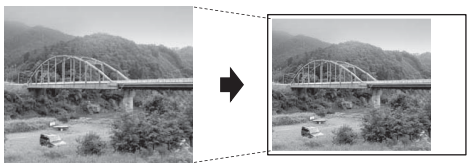
(10) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(11) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(12) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。

(13) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(14) 設定をリセットする

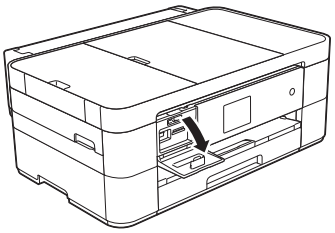
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントする

[全選択]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を 1 枚ずつまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【かんたん印刷】を押す

5 【全選択】を押す

【全ての写真選択枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

7 【OK】を押す

8 画面で設定を確認する

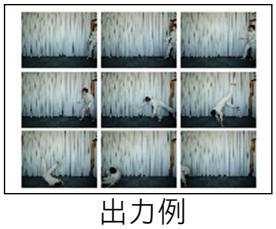
9 【スタート】を押す

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の用紙にプリントすることができます。

写真と共に保存されている動画も表示されます

印刷設定画面



出力例

- 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。

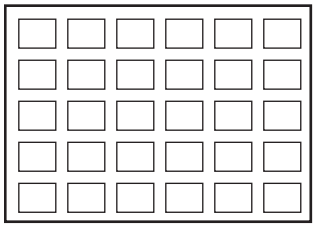
  使用できないデータは、[?] と表示されます。

- 動画は日付プリントができません。

インデックスシートをプリントする

［インデックスシート］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。A4 サイズの用紙 1 ページ内に最大 30 個の画像がプリントされます。

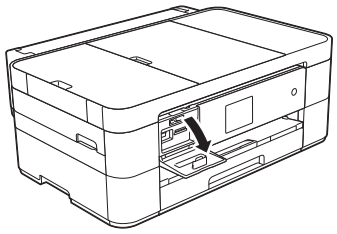


- インデックス番号が 1 から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
- インデックスシートをプリントする場合、用紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定値です。
- プリントされるのは JPEG（.JPG）および、MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。
- インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 A4 サイズの用紙を用紙トレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く



3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

4 【デジカメプリント】を押す

5 【インデックス】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

6 【インデックスシート】を押す

7 必要に応じて【印刷設定】を押し、用紙のタイプを変更する

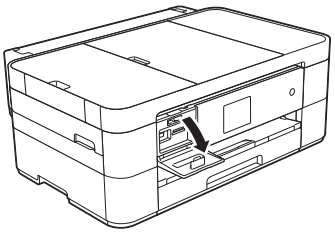
8 【スタート】を押す

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

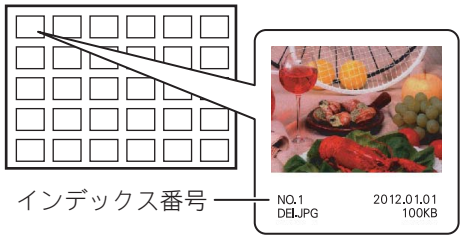
3 【デジカメプリント】を押す

4 【インデックス】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 【番号指定プリント】を押す

6 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 62 文字まで入力できます。

7 【+】/【−】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

8 画面で設定を確認する

9 【スタート】を押す

多様な補正機能を使ってプリントする

［こだわり印刷］

色や明るさを補正する（お好み色補正）

本製品には、下記 10 種の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真などを自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 * の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を、明るく補正してプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正＆赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

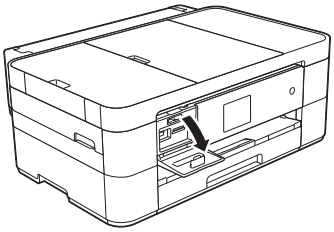
* 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわり印刷」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

6 【お好み色補正】を選び【OK】を押す

7 目的に合った補正メニューを選ぶ

8 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】/【−】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

10 画面で設定を確認する

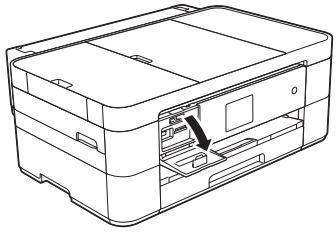
11 【スタート】を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の中から必要な部分だけを切り取ってプリントできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀／▶を押して、画面を送ります。

6 【トリミング】を選び【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

7 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す

▲/▼/◀/▶で移動します。

で拡大、で縮小します。

を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

8 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】/【−】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

10 画面で設定を確認する

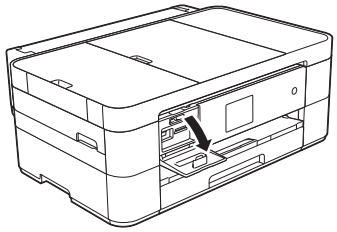
11 【スタート】を押す

補正とトリミングを同時に行う(お好み色補正＆トリミング)

【お好み色補正】で画像を補正をしながら、同時に【トリミング】で画像を切り取ってプリントできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【こだわり印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

6 【お好み色補正】と【トリミング】を選び、【OK】を押す

7 目的に合った補正メニューを選ぶ

8 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

9 枠の位置とサイズを選び、【OK】を押す

▲/▼/◀/▶で移動します。

で拡大、で縮小します。

を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

10 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

11 【+】/【−】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

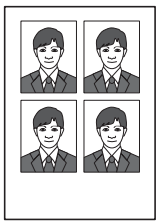
12 画面で設定を確認する

13 【スタート】を押す

証明写真プリントをする

［証明写真プリント］

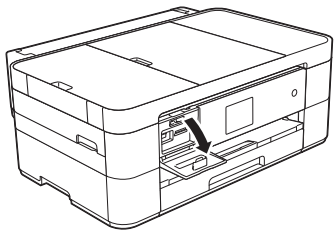
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像を選び、履歴書やパスポートなどで必要とされる証明写真サイズにプリントすることができます。選べるサイズは 4 種類あり、1 枚につき同じ画像 4 枚が割り付けられます。



お願い

■ 証明写真プリントとトリミングを同時に行うことはできません。不要な部分は、パソコンやデジタルカメラなどであらかじめトリミングしてください。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】を押す

4 【証明写真プリント】を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、◀/▶ を押して、画面を送ります。

6 1 枚あたりの写真サイズを選ぶ

【30x24mm ／ 40x30mm ／ 45x35mm ／ 50x50mm】 から選びます。

7 選んだ画像を確認し、必要に応じて で写真の向きを変更して【OK】を押す

8 画面で設定を確認する

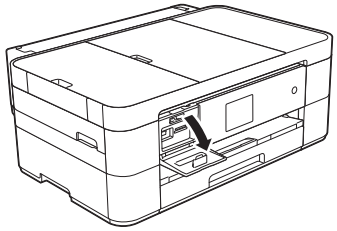
9 【スタート】 を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

[スライドショー]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライドショー中にプリントすることもできます。

1 メディアスロットカバーを開く



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【デジカメプリント】 を押す

4 【スライドショー】 を押す

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

5 【切り替え時間】 を押し、1 枚あたりの表示時間を選ぶ

【3 秒／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分】 から選びます。

6 【開始】 を押す

スライドショーが始まります。

7 終了するときは を押す

スライドショーの途中でプリントする

1 スライドショー中、プリントしたい画像が表示されているときに、画面を押す

2 【+】/【−】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーでも部数を入力できます。

3 画面で設定を確認する

4 【スタート】を押す

DPOF を使用してプリントするには

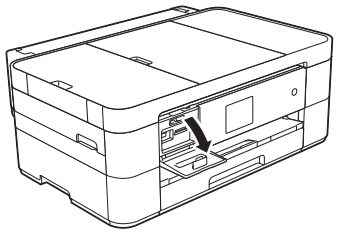
[DPOF]

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) *1 を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。

*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

DPOF から動画のプリントはできません。

1 メディアスロットカバーを開く



2 DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

3 【DPOF】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【印刷設定】を押す

5 【用紙サイズ】を押す

6 用紙サイズを選ぶ

他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。
設定を変更したら、【OK】を押してください。

7 【スタート】を押す

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、スマートフォンなどのカメラ付き携帯端末で撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

PictBridge

重 要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよびUSB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

デジタルカメラで行う設定

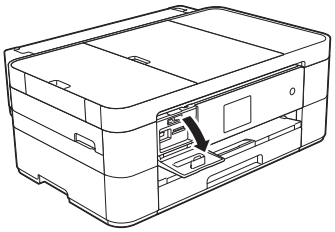
本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
用紙サイズ	A3、A4、L 判、2L 判、ハガキ
用紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

写真をプリントする

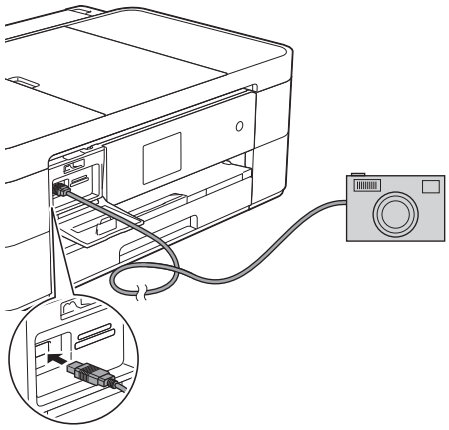
1 デジタルカメラの電源を切る

2 メディアスロットカバーを開く



3 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



4 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

5 デジタルカメラからプリントを実行する

お願い

■ プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

6 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

Memo

第 6 章

こんなときは

本章は、日常のお手入れについて説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、
⇒ 88 ページ「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 76
タッチパネルを清掃する 76
本製品の外側を清掃する 76
本体内部を清掃する 77
排紙ローラーを清掃する 78

インクがなくなったときは 80
インクカートリッジを交換する 80
インクカートリッジを捨てるときは 81
インク残量を確認する 82

印刷品質が良くないときは 83
定期メンテナンスについて 83
プリントヘッドをクリーニングする 83
用紙送り量を補正する 83

困ったときは

こんなときは 84
本製品の設定内容や機能を確認する 84

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

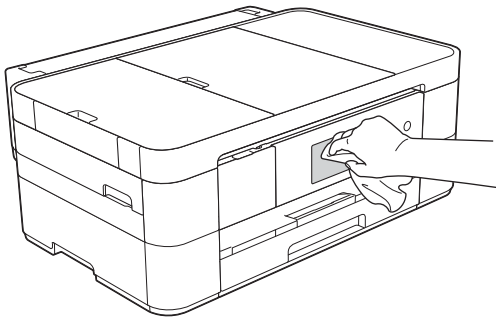
重 要

■ 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

■ タッチパネルを清掃するときは、誤作動を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

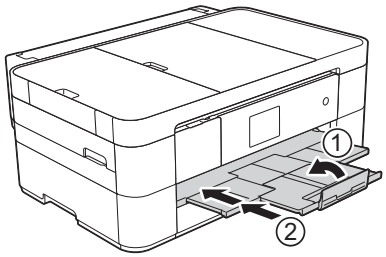


本製品の外側を清掃する

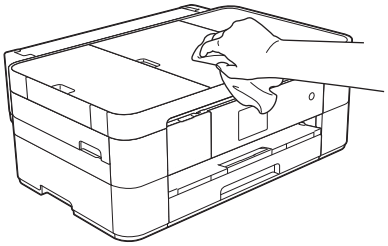
⚠警告

● 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

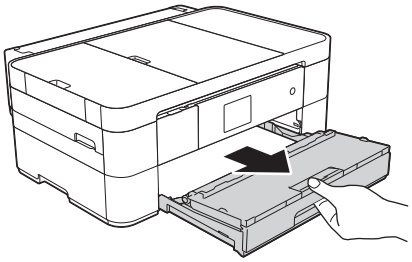
1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2）



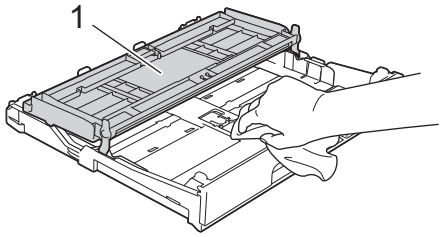
2 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く



3 用紙トレイを引き出す



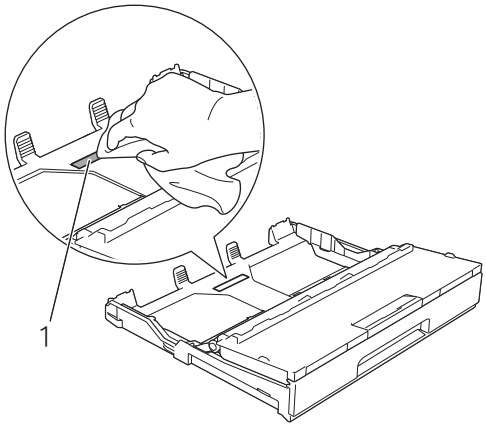
4 トレイカバー（1）を開けて用紙トレイから用紙を取り除き、用紙トレイの内側、外側を軽く拭く



5 トレイカバーを閉じて、用紙トレイを元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。
トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。

用紙の残りが少なくなってきたときに、用紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、用紙トレイのコルク部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。



本体内部を清掃する

用紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で用紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

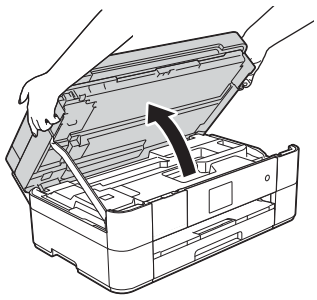
⚠警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

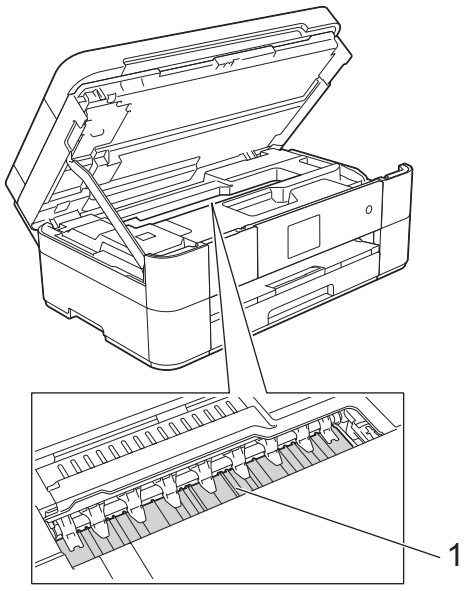
2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。



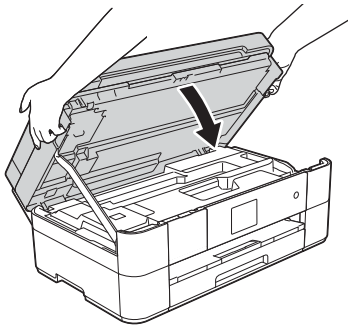
3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。



4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

排紙ローラーを清掃する

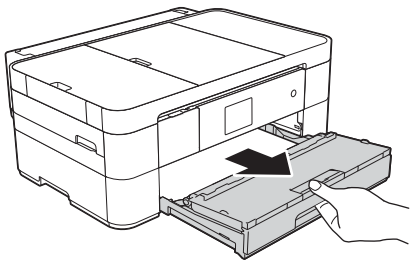
排紙ローラーが汚れていると、用紙が排出されなかったり、自動両面印刷ができなくなったりします。

> 排紙ローラーを拭いたあとは、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

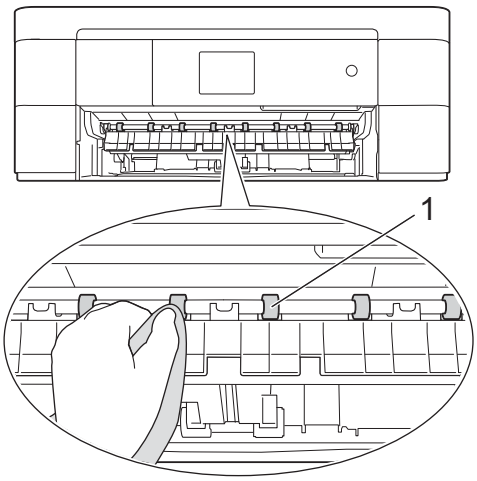
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

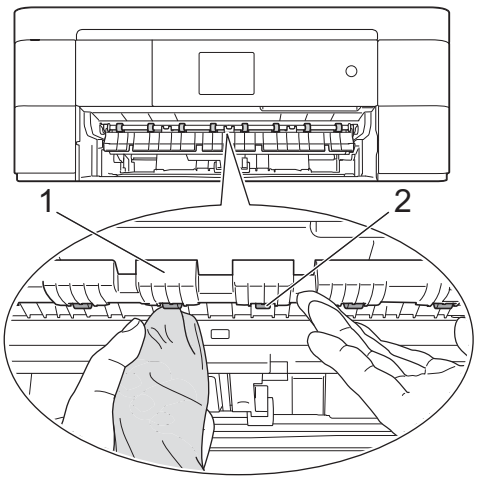
3 用紙ストッパーが格納されていることを確認して、用紙トレイを引き出す



4 排紙ローラー（1）を拭く



5 **フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラー（2）の裏側を拭く**



6 **用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻す**

7 **電源プラグをコンセントに差し込む**

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インク交換】

【モノクロ片面印刷のみ可能】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。
- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定する必要があります。
- コピーの場合、用紙タイプが【普通紙】に設定されている必要があります。

本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

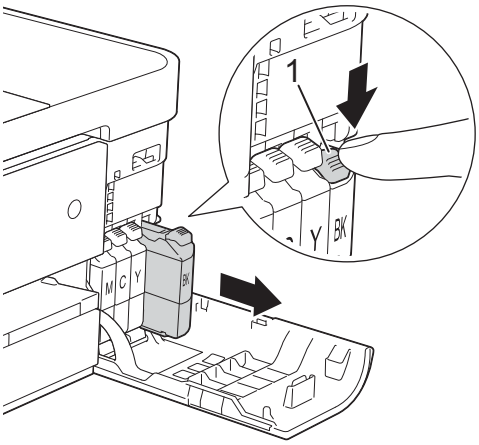
● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重 要

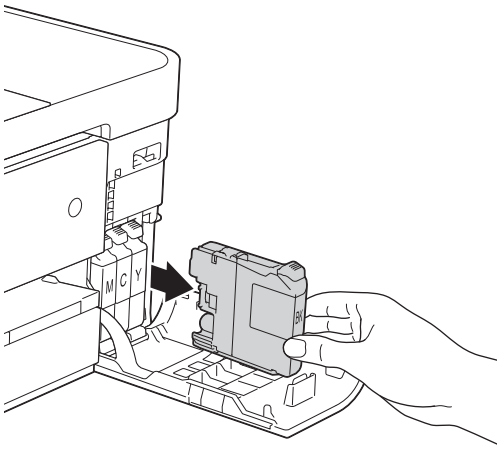
■ インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

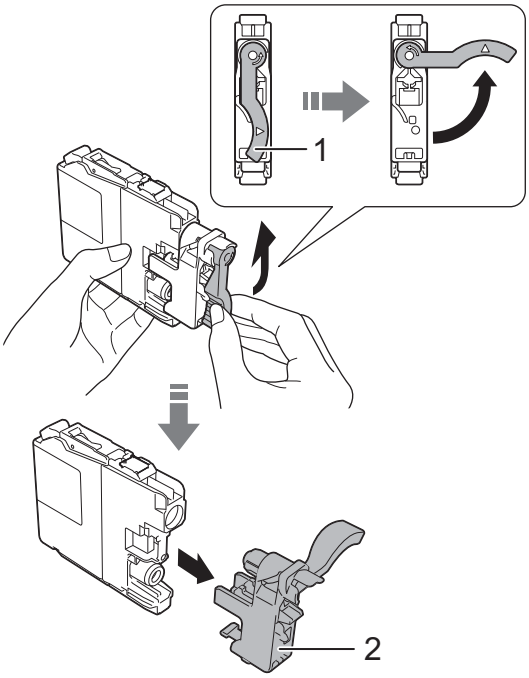


3 インクカートリッジを取り出す



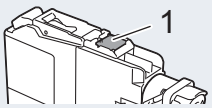
4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手（1）を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバー（2）を引き抜きます。



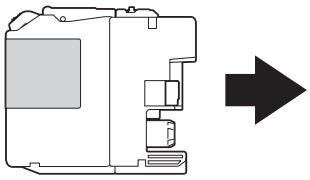
重 要

■ インクカートリッジの基板（1）に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

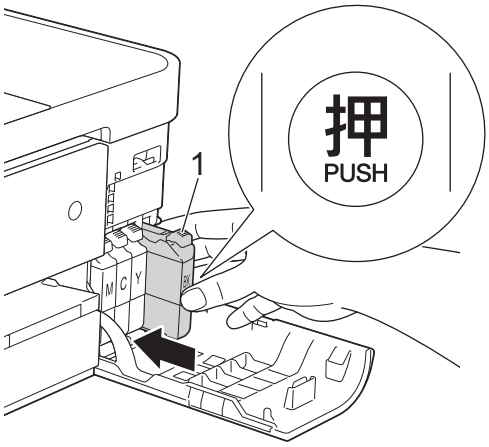


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー（1）が上がるまで、「押」の部分を押し込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／（交換したインク色）／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。)
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ユーザーズガイド 基本編「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

［インク残量］

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

(インク残量が少ない)

(インクカートリッジが空)

(インクカートリッジに問題がある)

3 を押して確認を終了する

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、状況に応じて以下の操作を行ってください。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

［ヘッドクリーニング］

印刷品質が良くないと感じたら、自動クリーニングを待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 **を押す**

2 **【ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決】を押す**

3 **クリーニングする色を選ぶ**

【ブラックのみ／カラーのみ／全色】から選びます。

4 **クリーニングの強さを選ぶ**

- 【普通】：
  かすれ、スジが少しある場合。
- 【強力】：
  かすれ、スジがひどい場合。
- 【超強力】：
  殆どインクが出ない場合。

5 **【スタート】を押す**

ヘッドクリーニングが開始されます。
クリーニング終了後にノズルの詰まりをチェックするかのメッセージが表示されます。チェックする場合は、【はい】を押して、画面の指示に従って操作してください。チェックしない場合は、【いいえ】を押します。

6 **を押して操作を終了する**

用紙送り量を補正する

［用紙送り量の補正］

用紙送り量を補正し、印刷面に出る規則的な筋を減らすことができます。

1 **用紙を用紙トレイにセットする**

⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」

2 **を押す**

3 **【印刷品質のチェックと改善 - かすれ , スジ , ずれの改善】を押す**

4 **【用紙送り量の補正 - 周期スジの改善】を押す**

5 **【次へ】を押し、画面の指示に従って設定を行う**

6 **【スタート】を押す**

「用紙送り量チェックシート」が印刷されます。

7 **印刷されたチェックシートの（A）～（E）パターンで、最も筋が目立たない番号を選び、【OK】を押す**

こんなときは

本製品の設定内容や機能を確認する

[レポート印刷]

1 用紙を用紙トレイにセットする

⇒ 12 ページ「用紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。

5 【OK】を押す

選んだレポートが印刷されます。

第 7 章

付録

文字の入力方法 86
入力画面例 86
ひらがな / カタカナの文字の割り当て 86
機能ボタンの使いかた 87
入力例 87

機能一覧 88
コピーボタン 88
スキャンボタン 89
デジカメプリントボタン 91
クラウドボタン 93
お役立ちツールボタン 93
便利な A3 コピーボタン 93
年賀状アプリボタン 94
Wi-Fi 設定ボタン 94
お気に入りボタン 94
インクボタン 94
メニューボタン 95
全てのメニューボタン 97

仕様 103

使用環境 110

用語解説 111

索引 112

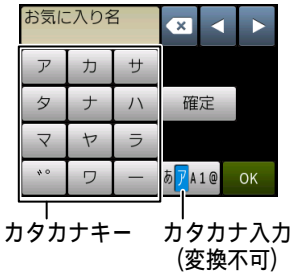
文字の入力方法

お気に入り設定やファイル名の入力などでは、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例

● ひらがな / 漢字入力画面

● カタカナ入力画面



● アルファベット入力画面

● 数字入力画面

● 記号入力画面

ひらがな / カタカナの文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
	文字を消去します。
◀	カーソルを左に戻します。
▶	カーソルを右に移動します。 同じボタンで続けて入力する場合には、▶ を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あア A1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

- 変換範囲を変更することはできません。
- 漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：タッチパネルを使って、「写真コピー」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 2 回押す	し
【や】を 4 回押す	ゃ
【さ】を 2 回押す	し
【わ】を 3 回押す	ん
【変換】を 1 回押す	しゃしん 写真 ※画面に変換候補が表示されます。
【写真】を押す	写真
【あア A1@】を 1 回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【カ】を 5 回押す	写真コ
【ハ】を 2 回押す	写真コヒ
【゛゜】を 2 回押す	写真コピ
【ー】を 1 回押す	写真コピー

機能一覧

操作パネル上のボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。画面のメッセージに従って操作してください。

コピーボタン

待ち受け画面の【コピー】を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
設定変更	コピー画質		印刷品質に合わせて設定します。	**標準**／高画質		⇒ 42 ページ
	用紙タイプ		用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢		⇒ 42 ページ
	用紙サイズ		用紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A3 ／ B4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判		⇒ 42 ページ
	用紙トレイ選択		コピー時に使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1 ／多目的トレイ／**トレイ自動選択**		⇒ 42 ページ
	拡大 / 縮小		コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%**	－	⇒ 43 ページ
				拡大	240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% B5 ⇒ B4, A4 ⇒ A3 123% A5 ⇒ B5 115% B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
				縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
				用紙に合わせる	－	
				カスタム (25-400%)	25 － 400（**100**）	
	コピー濃度		濃度を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2		⇒ 43 ページ
	スタック / ソート		複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー**／ソートコピー		⇒ 44 ページ
	レイアウト コピー		複数枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1in1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター (2x1) ／ポスター (2x2) ／ポスター (3x3)		⇒ 45 ページ
	両面コピー		原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面1枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	**オフ**／片面⇒両面 長辺とじ／片面⇒両面 短辺とじ／両面⇒両面		⇒ 48 ページ
				あんしん設定	**オフ**／あんしん 1／あんしん 2	
	便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	－		－
		インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－		⇒ 50 ページ
		裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	－		⇒ 50 ページ
		ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	－		⇒ 51 ページ

設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
設定変更	便利なコピー設定	透かしコピー	コピー画像に5種類のテキストの中から 1 つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL ／重要／**COPY** ／社外秘／至急	⇒ 51 ページ
				位置	A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／ 全面	
				サイズ	小／**中**／大	
				回転	-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ 45° ／ 90°	
				透過度	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	
				色	**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄	
		地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱／**中**／強		⇒ 52 ページ
	設定を保持する		変更した設定内容を次に保持し直すかリセットするまで維持し続けます。			⇒ 43 ページ
	設定をリセットする		設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒ 43 ページ
	お気に入り登録		以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 コピー画質・用紙タイプ・用紙サイズ・用紙トレイ選択・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウト コピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー			⇒ 43 ページ

スキャンボタン

待ち受け画面の【スキャン】を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	ー	⇒ 56 ページ
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
FTP サーバー	スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	プロファイル名選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
ネットワーク	スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	プロファイル名選択	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
クラウド	スキャンしたデータを各種ウェブサービスにアップロードします。	ー	⇒クラウド接続ガイド
Web サービス *1	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	⇒ パソコン活用 & ネットワーク
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

*1 Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定内容を変更および確認することができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキャンの種類						
				OCR	ファイル	イメージ	メディア	E メール添付	FTP サーバー	ネットワーク
設定変更	スキャン設定 *1	スキャンの設定を本体から変更できます。	本体から設定／**パソコンから設定**	○	○	○		○		
	カラー設定 *2*3	カラーを設定します。	カラー／**モノクロ**	○						
			カラー／モノクロ		○	○	○	○	○	○
	解像度 *2*3	解像度を設定します。	100 dpi ／ **200 dpi** ／ 300 dpi ／ 600 dpi	○	○	○		○		
			100 dpi ／ **200 dpi** ／ 300 dpi ／ 600 dpi ／自動				○		○	○
	ファイル形式 *2*4	ファイル形式を設定します。	**Text** ／ HTML ／ RTF	○						
			PDF ／ JPEG ／ TIFF		○	○	○	○	○	○
	スキャンサイズ *2	スキャンする原稿のサイズを設定します。	**A4** ／ハガキ／名刺 (90x60mm) ／ A5 ／ B5 ／ A6 ／ 2L 判／ L 判	○	○	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード	ADF（自動原稿送り装置）にセットした原稿サイズでスキャンします。	オン／**オフ**				○		○	○
	ファイル名	ファイル名を設定します。					○		○	○
	おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。	オン／**オフ**				○			
	ADF 傾き補正 *2	ADF（自動原稿送り装置）から原稿を読み取った場合に、原稿の傾きを自動的に補正します。	**自動**／オフ	○	○	○	○	○	○	○
	地色除去 *2	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。	**オフ**／弱／中／強		○	○	○	○	○	○
	ユーザー名	ユーザー名を設定します。							○	○
	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・おまかせ一括スキャン・ADF 傾き補正・地色除去					○			
	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○			
お気に入り登録		PC 名をお気に入りに登録できます。		○	○	○		○		
		以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキャンサイズ・ADF 長尺原稿モード・ファイル名・おまかせ一括スキャン・ADF 傾き補正・地色除去					○			
		プロファイル名をお気に入りに登録できます。							○	○

*1 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト ControlCenter がインストールされていない場合は表示されません。

*2 OCR、ファイル、イメージ、E メール添付では、【スキャン設定】を【本体から設定】に設定した場合にのみ選択できます。

*3 選択できる設定値は、スキャンの種類によって異なります。

*4 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。

デジカメプリントボタン

待ち受け画面の【デジカメプリント】を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。
デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）			参照
インデックス	インデックスシートや、指定した番号の写真をプリントします。	インデックスシート			⇒65ページ
		番号指定プリント			⇒66ページ
かんたん印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。	（サムネイル）			⇒基本編
		全選択	プリント枚数をすべて1枚に設定します。 設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。		⇒64ページ
こだわり印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。	（サムネイル）	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正 *1 色あざやか補正 *1 赤目補正 夜景補正 *1 逆光補正 *1 ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	⇒67ページ
			トリミング	ー	⇒68ページ
証明写真プリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を証明写真用のサイズで複数並べてプリントします。	（サムネイル）	写真サイズ	30x24mm ／ 40x30mm ／ 45x35mm ／ 50x50mm	⇒70ページ
スライドショー	スライドショーの写真 1 枚あたりの表示時間が設定できます。	切り替え時間		**3 秒**／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分	⇒71ページ

*1 画像を補正した結果を基点に± 1 色調の変更ができます。

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷		証明写真プリント	スライドショー中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング		
印刷設定	プリント画質[*1]	プリント時の画質を設定します。	**標準**／きれい		○	○	○	○	○	○
	用紙タイプ	用紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／**その他光沢**		○	○	○	○	○	○
			普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	○						
	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。	**L 判**／2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3[*2]		○	○	○	○	○	○
	プリントサイズ	用紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**		○	○	○	○		○
	用紙トレイ選択	使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1 ／**多目的トレイ**／トレイ自動選択		○	○	○	○	○	○
	プリントレイアウト	1 枚の用紙に複数枚の写真を割り付けてプリントします。	**オフ**／ 1x2 ／ 2x2 ／ 2x4 ／ 3x3 ／ 4x4		○	○				○
	自動色補正[*1]	自動で色や明るさを補正します。	する／**しない**			○				○
	画像補正[*1]	自動で色や赤目を補正します。	**しない**／自動色補正／赤目補正／自動色補正＆赤目補正						○	
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2		○	○		○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2		○	○		○		○
	画質強調	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2／-1／**0**／+1／+2 **しない**		○	○		○		○
		<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			○	○		○		○
		<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。			○	○		○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○		○

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷		証明写真プリント	スライドショー中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング		
印刷設定	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○		○
	日付印刷 *1	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**		○	○	○	○		○
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	－		○	○	○	○		○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－		○	○	○	○		○

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 証明写真プリントの場合は、A3 サイズは表示されません。

クラウドボタン

待ち受け画面の【クラウド】を押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）からダウンロードできます。）

お役立ちツールボタン

待ち受け画面の【お役立ちツール】を押して表示される画面で、原稿を赤色のペンで囲むと、その部分だけを抜き出してスキャン、コピー、削除できる機能などを使うことができます。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

便利な A3 コピーボタン

待ち受け画面の【便利な A3 コピー】を押して表示される画面で、A4 原稿や A3 用紙を使ったいろいろなコピーができます。

設定項目	機能説明	参照
A3 2in1	A4 原稿 2 枚を A3 用紙 1 枚に並べてコピーします。	⇒ 53 ページ
A4 ⇒ A3 拡大	A4 原稿 1 枚を A3 用紙 1 枚に拡大（141%）してコピーします。	
A4 + ノート（横）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に横罫線を配置します。	
A4 + ノート（縦）	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に縦罫線を配置します。	
A4 + 方眼	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に方眼罫を配置します。	
A4 + メモ	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側いっぱいを空白にします。	
A4 センター	A4 原稿 1 枚を原寸で A3 用紙の中央にコピーします。	

年賀状アプリボタン

待ち受け画面の【年賀状アプリ】を押して表示される画面で、パソコンを使わずに年賀状を作成できます。
詳しくは、年賀状アプリのかんたん操作ガイドをお読みください。かんたん操作ガイドは、年賀状アプリメニューの【かんたん操作ガイド】を押して画面の指示に従って印刷できます。

Wi-Fi 設定ボタン

待ち受け画面の WIFI または無線 LAN 状態を表示するボタンを押して表示される画面で、無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒かんたん設置ガイド
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	
接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	―

お気に入りボタン

待ち受け画面の【お気に入り】を押して表示される画面で、よく使う機能や設定を「お気に入り」として登録することができます。⇒ 33 ページ

インクボタン

待ち受け画面の を押した場合に表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容		参照
インク残量	インク残量を表示します。	―		⇒ 82 ページ
印刷品質のチェックと改善 - かすれ，スジ，ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善		⇒基本編
		罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編
		用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		⇒ 83 ページ
ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラックのみ／カラーのみ／全色	普通 - かすれ，スジが少しの時 ／強力 - かすれ，スジがひどい時 ／超強力 - 殆どインクが出ない時	⇒ 83 ページ
詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	―		⇒基本編
給紙ローラーのクリーニング - 給紙の失敗の改善	給紙ローラーのクリーニングを行います。	―		⇒別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
時計セット	日付	日付を設定します。	－（**2016.01.01**）		●初期設定参照 ⇒102ページ
	時刻	時刻を設定します。	－（**00:00**）		
	タイム ゾーン	タイムゾーン（時刻帯）を設定します。	－（**UTC ＋ 09:00**）		●初期設定参照 ⇒102ページ
メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，スジ，ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善		⇒基本編
			罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編
			用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
	ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラックのみ／カラーのみ／全色	普通 - かすれ，スジが少しの時／強力 - かすれ，スジがひどい時／超強力 - 殆どインクが出ない時	インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
	詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	－		⇒基本編
	給紙ローラーのクリーニング - 給紙の失敗の改善	給紙ローラーのクリーニングを行います。	－		⇒別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」
	インク残量	インク残量を表示します。	－		インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルの設定を行います。	－		⇒パソコン活用＆ネットワーク
	接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	－		－
	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－		⇒かんたん設置ガイド
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－		
	WPS（PIN コード）	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－		⇒パソコン活用＆ネットワーク
	無線状態	無線LANの接続状態を表示します。	－		
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	－		
静音モード		印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。	オン／**オフ**		⇒ 32 ページ

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
用紙トレイ設定	用紙トレイ #1	用紙トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	⇒基本編
			用紙サイズ	**A4** ／ B5 ／ A5 ／ 2L 判／ L 判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／長形 3 号封筒／長形 4 号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／ Com-10 ／ DL 封筒	⇒基本編
	多目的トレイ	多目的トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	⇒基本編
			用紙サイズ	**A4** ／ B5 ／ A5 ／ 2L 判／ L 判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／長形 3 号封筒／長形 4 号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／ Com-10 ／ DL 封筒	⇒基本編
ボタン確認音量		操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大		全てのメニューボタン参照 ⇒ 97 ページ
全てのメニュー		本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	ー		⇒ 97 ページ

全てのメニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、次の設定ができます。

● **基本設定**

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
基本設定	メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，スジ，ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善		⇒基本編
				罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編
				用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
		ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラックのみ／カラーのみ／全色	普通 -かすれ, スジが少しの時／強力 -かすれ, スジがひどい時／超強力 - 殆どインクが出ない時	インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
		詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	－		⇒基本編
		給紙ローラーのクリーニング - 給紙の失敗の改善	給紙ローラーのクリーニングを行います。	－		－
		インク残量	インク残量を表示します。	－		インクボタン（ ）参照 ⇒ 94 ページ
	用紙トレイ設定	用紙トレイ#1	用紙トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／その他光沢	メニューボタン参照 ⇒ 95 ページ
				用紙サイズ	**A4** ／ B5 ／ A5 ／ 2L 判／L判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／長形 3 号封筒／長形4号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／ Com-10 ／ DL 封筒	メニューボタン参照 ⇒ 95 ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
基本設定	用紙トレイ設定	多目的トレイ	多目的トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／その他光沢	メニューボタン参照 ⇒ 95 ページ
				用紙サイズ	**A4** ／ B5 ／ A5 ／ 2L 判／L判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／長形 3 号封筒／長形4号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／ Com-10 ／ DL 封筒	メニューボタン参照 ⇒ 95 ページ
		トレイ設定：コピー	コピー時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ選択	用紙トレイ#1／多目的トレイ／**トレイ自動選択**	⇒ 23 ページ
				トレイ優先順位	**用紙トレイ #1 ＞多目的トレイ**／多目的トレイ＞用紙トレイ #1	⇒ 23 ページ
		トレイ設定：プリント	プリント時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ優先順位	**用紙トレイ #1 ＞多目的トレイ**／多目的トレイ＞用紙トレイ #1	⇒ 23 ページ
		トレイ設定：デジカメプリント	デジカメプリント時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ選択	用紙トレイ #1 ／**多目的トレイ**／トレイ自動選択	⇒ 23 ページ
				トレイ優先順位	用紙トレイ #1 ＞多目的トレイ／**多目的トレイ＞用紙トレイ #1**	⇒ 23 ページ
		トレイ確認	用紙トレイ設定の確認メッセージを表示するかどうかを設定します。	**オン**／オフ		⇒基本編
	静音モード		印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。	オン／**オフ**		メニューボタン参照 ⇒ 95 ページ
	ボタン確認音量		操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大		⇒ 28 ページ
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く		⇒ 29 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／ 10 秒／ 20 秒／ **30 秒**		
	キーボード設定（英字入力）		キーボードの設定を行います。	**QWERTY 入力**／かなめくり入力		⇒ 29 ページ
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ **5 分**／ 10 分／ 30 分／ 60 分		⇒ 30 ページ
	クイック起動モード		クイック起動モードを設定すると、電源オフ状態から待機モードへの移行が通常よりも早くなります。	オン／**オフ**		⇒ 31 ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	セキュリティ機能ロック	パスワード設定	セキュリティ機能ロックのパスワードを設定します。	ー	⇒ 36 ページ
		ロック オフ⇒オン	セキュリティ機能ロックのオン / オフを切り替えます。	ー	
	自動電源オフ		本製品の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。	**オフ**／ 1 時間／ 2 時間／ 4 時間／ 8 時間	⇒ 30 ページ

● お気に入り設定

設定項目	機能説明		参照
（お気に入りボタンを選択）	お気に入り名の編集や消去をします。	お気に入り名の編集	お気に入りボタン参照 ⇒ 94 ページ
		消去	

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバー	WINS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			DNS サーバー	DNS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン／**オフ**
		接続アシスタント		付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	－
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階（強い／普通／弱い／なし）で表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	（32 文字まで表示）
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	－
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続		ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		PIN コード接続		WPS（PIN 方式）で簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		手動接続		手動で Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－
		グループ オーナー		本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／オフ

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	Wi-Fi Direct	デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	―
			SSID	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。 (自分の SSID)／(接続相手の SSID)／未接続	―
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	―
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	―
			電波状態	電波状態を 4 段階（強い／普通／弱い／なし）で表示します。	―
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct® 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／**オフ**
	新サービス開始通知	新サービス開始通知		インターネットからお得な最新情報を取得するかどうかを設定します。	オン／**オフ**
		ステータス		新サービス開始通知の設定状態を表示します。	―
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／**オフ**
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	―
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	(**8080**)
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	―
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	―
	無線 LAN 有効			無線LANのオン／オフを切り替えます。	―
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	―

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 84 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワークの設定内容を印刷します。	⇒ 84 ページ
	無線LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 84 ページ

● 製品情報

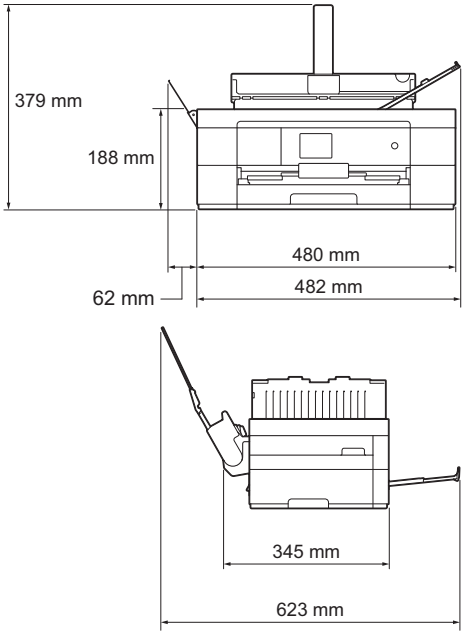
機能	設定項目		機能説明	参照
製品情報	シリアル No.		本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒基本編
	ファームウェアバージョン	Main バージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します	⇒基本編

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
初期設定	時計セット	日付	日付を設定します。	－（**2016.01.01**）	⇒ 26 ページ
		時刻	時刻を設定します。	－（**00:00**）	
		タイム ゾーン	タイムゾーン（時刻帯）を設定します。	－（**UTC ＋ 09:00**）	⇒ 26 ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の機能設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒基本編
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒基本編
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒基本編
	その他	デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	－
	表示言語設定		画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English.	**日本語**／英語	⇒ 29 ページ

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式
メモリー容量	128MB
LCD（液晶ディスプレー）	2.7型 TFTカラー LCD（6.8cm/67.5mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 *1	コピー時：約31W*2 稼動準備時：約5W*3 スリープモード時：約1.6W*3 クイック起動モード時：約1.2W*3*4 電源OFF時：約0.04W*3*4
外形寸法	
製品重量 ※インクカートリッジを含む	10.4kg
稼働音（音圧レベル）	動作時：約50dB（A）*5
稼働音（音響レベル）*6	コピー時（モノクロ）：6.15B（A） コピー時（カラー）：6.11B（A） スタンバイ時：2.95B（A）
温度	動作保証温度：10～35℃ 最高印刷品質保証温度：20～33℃
湿度 ※結露なきこと	動作保証湿度：20～80% 最高印刷品質保証湿度：20～80%
ADF（自動原稿送り装置）積載枚数	20枚（用紙坪量：80g/m^2（A4）） 10枚（用紙坪量：80g/m^2（A6）、：220 g /m^2（名刺、はがき））

原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 • ADF原稿トレイに排紙（U-ターンパス） 幅：148mm～215.9mm 長さ：148mm～355.6mm • カード排紙トレイに排紙（ストレートパス） 幅：55mm～105mm 長さ：91mm～148.5mm

*1 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。
*2 ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン
*3 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。
*4 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF、及び、クイック起動モードが解除されます。必要な処理終了後は再度、解除前の状態となります。
*5 お使いの機能により数値は変わります。
*6 表示 A 特性音響パワーレベル LwAd が 6.30B（A）を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

印刷用紙

給紙	**用紙トレイ** ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1] ■用紙サイズ[*2]： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、DL封筒、Com-10、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：150枚（80g/m^2 普通紙）
	多目的トレイ ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1] ■用紙サイズ[*2]： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、DL封筒、Com-10、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：80枚（80g/m^2 普通紙）、50枚（220g/m^2 普通はがき/インクジェット紙はがき）
	手差しトレイ ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1] ■用紙サイズ[*2]： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 用紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒10ページ「使用できる用紙」 ■最大用紙容量：1枚
排紙	最大50枚（80g/m^2 普通紙）（用紙は印刷面を上にして排出されます。）

[*1] 光沢紙を使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

[*2] 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

コピー

カラー / モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	204mm（A4原稿読み取り時）
連続複写枚数	スタック/ソート　最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最大1200×2400dpi
自動両面コピー	• 用紙タイプ：普通紙 • 用紙サイズ：A4、B5（JIS）、A5

デジカメプリント

互換性のあるメディア [*1]		• メモリースティック デュオ™ （16MB－128MB） • メモリースティック PROデュオ™ （256MB－32GB） • メモリースティック マイクロ™ （M2™）（256MB－32GB） （アダプターが必要です。） • マルチメディアカード （32MB－2GB） • マルチメディアカード プラス（128MB－4GB） • マルチメディアカード モバイル （64MB－1GB） （アダプターが必要です。） • SDメモリーカード （16MB－2GB） • miniSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • microSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • SDHCメモリーカード（4GB－32GB） • miniSDHCカード（4GB－32GB） （アダプターが必要です。） • microSDHCカード（4GB－32GB） （アダプターが必要です。） • SDXCメモリーカード （48GB－128GB） • USBフラッシュメモリー [*2]
解像度		最大1200×6000dpi
拡張ファイル	メディア ファイル フォーマット	DPOF形式（ver.1.0、ver.1.1）、 Exif形式/DCF形式（ver. 2.1まで）
	対応画 ファイル フォーマット	写真プリント：JPEG[*3]、AVI [*4]、MOV[*4]
		メディア保存：JPEG、PDF（カラー） TIFF、PDF（モノクロ）
ふちなし印刷用紙		A3、A4、ハガキ、L判、2L判[*5]

[*1] 本製品には、メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

[*2] USB2.0 規格
16MB ～ 64GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

[*3] プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

[*4] モーション JPEG のみです。

[*5] 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

本製品は、著作権保護機能には対応していません。

スキャナー

カラー / モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8） （Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x）
WIA 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista® /Windows® 7/Windows® 8）
ICA 対応	あり（Mac OS X v10.8.5、10.9.x、10.10.x）
カラー階調	入力：48ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：16ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi （補間）[*2] 最大1200×2400dpi （原稿台ガラス） 最大1200×1200dpi （ADF（自動原稿送り装置））
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：213.9mm 長さ：295mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：213.9mm 長さ：353.6mm

[*1] Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

[*2] WIA ドライバー（Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
最大印刷幅 [*1]	291mm［297mm （ふちなし印刷）[*2]］
ふちなし印刷用紙 [*3]	A3、レジャー、A4、USレター、A6、ポストカード、インデックスカード、ハガキ、L判、2L判
自動両面印刷	• 用紙タイプ：普通紙 • 用紙サイズ：A4、USレター、エグゼクティブ、A5、B5（JIS）、ハガキ

[*1] A3 用紙を印刷した場合。

[*2] ふちなし印刷を設定した場合。

[*3] 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

インターフェイス

USB[*1][*2]	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ通信、アドホック通信） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct®接続）

[*1] 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

[*2] サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

ネットワーク（LAN）

ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド パソコン活用＆ネットワーク」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light[*1] も使用できます。

[*1] 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://support.brother.co.jp/）から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティーの最新バージョンをダウンロードして使用してください。（Windows® のみ）

無線セキュリティー	SSID（最大32桁まで）、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）	
無線セットアップサポートユーティリティー	AOSS™	対応
	WPS	対応

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th colspan="2">インターフェイス</th><th rowspan="2">プロセッサー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th></tr>
<tr><th>USB *2</th><th>無線 LAN
IEEE802.11b/g/n</th><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア（ドライバーを含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="5">Windows®</td><td>Windows® XP Home *1
Windows® XP Professional *1</td><td colspan="2" rowspan="2">プリント
スキャン
リムーバブルディスク（USB 接続時）*3
ネットワークメディアアクセス（LAN 接続時）*3</td><td rowspan="3">32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサー</td><td>150MB</td><td>1GB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® *1</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.3GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 *1
Windows® 8 *1
Windows® 8.1 *1</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003
Windows Server® 2003 R2
Windows Server® 2008</td><td rowspan="2">なし</td><td rowspan="2">プリント</td><td rowspan="2">50MB</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2
Windows Server® 2012
Windows Server® 2012 R2</td><td>64 ビット (x64) のプロセッサー</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td>OS X v10.8.5
OS X v10.9.x
OS X v10.10.x</td><td colspan="2">プリント
スキャン
リムーバブルディスク（USB 接続時）*3
ネットワークメディアアクセス（LAN 接続時）*3</td><td>Intel® プロセッサー</td><td>80MB</td><td>550MB</td></tr>
</table>

*1 WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。
*3 リムーバブルディスクおよびネットワークメディアアクセスはメモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは http://support.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから用紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやスキャンのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝た＝

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

＝は＝

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の用紙に拡大コピーします。

＝ら＝

● **ログオン（ログイン）**
パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

● **4in1**
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の用紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● **ADF（自動原稿送り装置）**
Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● **CMYK**
シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● **CSV 形式**
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● **DPI**
Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **OS**
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PC**
Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● **TWAIN**
Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● **USB ケーブル**
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **vCard（vcf 形式）**
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● **WIA**
Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 で標準サポートされています。

索引

数字

2in1（ID カード）コピー 45
2in1 コピー 45
4in1 コピー 45

英字

CPU 110
DPOF 72
E メール添付 89
ID カードコピー 46
Macintosh 110
microSD カード 60
miniSD カード 60
OCR 89
OS 110
PictBridge 73
SD メモリーカード 60
USB フラッシュメモリー 60
USB フラッシュメモリー差し込み口 60
Wi-Fi 設定ボタンの機能 94
Windows® 110

あ行

赤目補正 67
明るさ（画面） 29
明るさ（デジカメプリント） 62
色あざやか補正 67
インクカートリッジの交換 80
インクカートリッジの廃棄 81
インク残量チェック 82
インクジェット紙 10
インク節約モード 50
インクボタンの機能 94
印刷音の軽減 32
印刷が汚い 83
印刷範囲 12
インデックスプリント 65
薄い（コピー / 印刷） 83
裏写り除去コピー 50
お気に入り登録 33
お気に入りの呼び出しかた 35
お手入れ 76
おまかせ一括スキャン 57
お役立ちツールボタンの機能 93
音量 28

か行

拡大 / 縮小 43
画質が悪い 83
画質強調 62
かすれる（コピー / 印刷） 83
画像トリミング 62
画像の一部をプリントする 68
画面の設定 29
カラー調整 62
キーボード設定 29
機能一覧 88
逆光補正 67
クイック起動モード 31
クラウドボタンの機能 93
クリーニング（プリントヘッド） 83
原稿の読み取り範囲 24
言語選択 29
光沢紙 10
こだわり印刷 67
コピー
　画質 42
　設定変更 42
　濃度 43
コピーボタンの機能 88
コントラスト 62

さ行

地色除去コピー 52
自動色補正 67
自動電源オフ 30
シャープネス 62
写真補正 67
写真をトリミングする 68
写真をプリントする 60
写真をプリントする（PictBridge） 73
仕様 103
使用環境 110
商標 6
証明写真プリント 70
照明ダウンタイマー 29
透かしコピー 51
スキャンしたデータをメディアに保存する 56
スキャンボタンの機能 89
スタックコピー 44
スライドショー 71
スリープモード 30
静音モード 32
清掃 76
セキュリティ機能ロック 36
設定内容リスト 84
設定を保持する（コピー） 43
設定を保持する（デジカメプリント） 63
設定を保持する（メディア保存） 56
セットできる用紙 10
セピア色でプリント 67
ソートコピー 44

た行

タイムゾーン 26
ダウンタイマー（照明）..... 29
タッチパネル操作 8
多目的トレイにセット 17
定期メンテナンス 83
テキストデータ変換 89
手差しトレイにセット 20
デジカメプリント 60
デジカメプリントボタンの機能 91
時計セット 26
トリミング 68
トレイ優先順位 23

な行

入力方法 86
ネットワーク設定リスト 84
年賀状アプリボタンの機能 94

は行

廃棄（インクカートリッジ）..... 81
排紙ローラーの清掃 78
白紙（コピー / 印刷）..... 83
肌色あかるさ補正 67
番号指定プリント 66
日付印刷 62
表示言語 29
封筒 10
フォルダー保存 89
ふちなし印刷 62
普通紙 10
ブックコピー 51
プラテン清掃 77
プリント画質 61
プリントサイズ 61
プリントヘッド 83
プリントレイアウト 61
ヘッドクリーニング 83
便利な A3 コピーボタンの機能 93
便利な A3 コピー 53
便利なコピー設定 43
ポスターコピー 47
ホワイトバランス 62
ホワイトボード補正 67

ま行

まとめてプリント 64
マルチメディアカード 60
無線 LAN レポート 84
メディア保存 56, 89
メニューボタンの機能 97
メモリー 110
メモリーカード差し込み口 60
メンテナンス 76
文字の入力方法 86
モノクロプリント 67

や行

夜景補正 67
ユーザー切り替え 39
用語解説 111
用紙 10
用紙送り量の補正 83
用紙サイズ（コピー）..... 42
用紙サイズ（デジカメプリント）..... 61
用紙タイプ（コピー）..... 42
用紙タイプ（デジカメプリント）..... 61
用紙トレイ 12
用紙トレイにセット 12
用紙トレイの設定 23
用紙トレイの選択 23
用紙のセット 10
　多目的トレイ 17
　手差しトレイ 20
　用紙トレイ 12
汚れ（本製品）..... 76
読み取り範囲 24

ら行

両面コピー 48
レイアウトコピー 45
レポート印刷 84

Version 0 JPN